

0190

兵庫縣漁業慣行錄

鹹水漁業之部

卷之七



兵庫縣漁業慣行録卷之七 鹹水漁業之部

播磨國明石郡

第一章 漁制

第一款 掟類

第一項 保護ニ關スル事

塩屋村 東壱水村 西壱水村 大藏谷村 相生町

戎町 新濱 當津村 魚住村 中尾村 西岡村

漁具 鯛延繩ハ舊藩時代ニハ使用ヲ禁セシカ維新後

其禁廢絶セリ○地曳鰯其他各漁具舊領主ニ於テ其

數ヲ制限シ妾リニ増加スル事ヲ許サス詳細ハ參考

一第三第九第十
二号ニ掲載ス

漁場 舊藩時代ニハ領主ヨリ浦目附役ヲ派シ時々沖

合ヲ見廻リ他方ヨリ入漁スル者アラハ直ニ之レ

停止セリ尤五分一役所へ漁業鑑札ヲ願出テシ者ハ之レヲ許セシテアリ

山田村

漁具 鯛延繩禁止及漁具數制限ノ下塩屋村ニ全シ細詳

ハ参考書明石郡第四号ニ掲載ス 鯛網ハ慶應年中舊領主ニ於テ領地内郡中石ニ一疊ノ外増加スルヲ許サス領主ヨリ舊幕府へ献上セリ 蓋シ漁具増加スレハ其群集ヲ妨害スルヲ以テナリ又漁期ニ至レハ舊藩主ヨリ葵紋附ノ小幟ヲ下附セシ例アリ

林村

漁期 雜魚手操網漁ハ舊藩時代ニハ五月ヨリ年末迄又蠣辛螺貝漕網漁ハ十月ヨリ翌年三月迄以上陰曆ノ期節ヲ定メシカ 明治八年頃以來廢絶セリ

漁具 鯛延繩停止及漁具數制限ノ下塩屋村ニ全シ

漁場 舊藩時代ニハ十艘頭ト稱スル者アリテ本村ニリ漁場ヲ保管セシガ尚沖目付役ヲ置キ時々漁場ヲ見廻リシテ塩屋村ニ全シ

谷八木村

漁場 年々二回舊領主ヨリ吏ヲ遣シテ漁場ヲ巡視セシメ取締ヲナセシテ江井嶋村ニ全シ

江井嶋村

漁場 舊藩時代ニハ領主ニ於テ當村字濱條明治九年

以後字嶋ニ濱手役所ヲ設ケ兩三名ノ官吏ヲ派シ漁場一切ノ事務並ニ運上ノ事ヲ掌レリ而シテ右役所設置アリタル譯ヲ以テ領主ヨリ毎年小束松葉三拾把下與セラレタリ 蓋漁村保護ノ意ナリ又年々二回

漁場内巡視トシテ五分一役人頭分兩三名出張シ他郡村ノモノ妄リニ入會漁業スルヲ禁制セリ若シ制シ難キ場合ニハ領主ハ其旨願出テ領主ヨリ葵章ノ小幟ヲ下附シ漁夫ノ内古老又ハ適任ノ者ヲ撰ミ沖目付ト稱シ小舟ニ乗込該小幟ヲ舟艦ニ建テ、出船セシノ若シ他郡ノモノ窵ニ来ツテ稼クトキハ即チ之ヲ捕ヘ漁具其他ノ用具ヲ引上ケ尚種々ノ所置ヲナセシトアリタリ

漁業 舊藩時代ニハ漁業ヲ營マ、レト欲スルモノハ總テ當村五歩一役所ヘ出願シ鑑札ヲ受ケタル後ニアラサレハ許サレサリキ

第二項 漁税ニ關スル事

塩屋村

舊藩時代ニハ地引鰯網地引繩網地引魚網ニ運上トシテ各銀十一匁二分又請浦税トシテ其他ノ漁業ニハ年々金若干宛ヲ納メ維新後尚續ヒテ其額ヲ納メシカ明治八年ヨリ廢税トナリタリ 詳細ハ参考書明石郡第九号ニ掲載ス

東壱水村

地引繩網地引鰯網地引鱸網漁業ハ舊藩時代ノ頃ハ運上トシテ年々漁獲銀高百目ニ付永四十七文八分及ヒ鰯網漁業ハ漁獲現呂ノ半数ヲ納メ又請浦税トシテ其他ノ漁業ニ金若干宛 納石郡第一号ニ掲載ス 又請浦税トシテ其後尚續ヒテ其額ヲ納メシカ明治八年ヨリ廢税トナレリ

西壱水村

舊藩時代ニハ繩地引鰯網漁業ハ運上トシテ漁獲高銀

百目ニ付十一匁二分及其他ノ漁業ハ請浦税トシテ年々魚若干ヲ納メ維新後尚續ヒテ其額ヲ納メシカ明治八年ヨリ廢税トナレリ詳細ハ参考書明石郡第三号ニ掲載ス

山田村

舊藩時代ニハ地引繩網今鰯網摺リ網持網運上トシテ漁獲高銀百目ニ付永四十八文八分又其他ノ漁業ニ請浦税トシテ金若干宛ヲ納メ維新後尚續ヒテ其額ヲ納メシカ明治八年ヨリ廢税トナリタリ詳細ハ参考書明石郡第四号ニ掲載ス

大藏谷村 相生町

舊藩時代ニハ運上トシテ鰯網税ハ十分ノ五其他ノ漁税ハ都テ五分ノ一ヲ納ムルノ法ナリシカ實際ハ捕漁賣上高百分ノ五鰯ハ十分ノ三ヲ納メ維新後尚續ヒテ其額ヲ納メシカ明治八年ヨリ廢税トナリタリ

戎町 新濱村 當津村

舊藩時代ニハ請所ト唱ヘ年々永六十貫四百六十二文一分ヲ納メ維新後尚續ヒテ其額ヲ納メシカ明治八年ヨリ廢税トナレリ詳細ハ参考書明石郡第十号ニ掲載ス

林村

元和ノ頃運上トシテ年々五分ノ一寛政年間ハ請浦運上トシテ銀六貫目其後壹割九歩ト改マリ弘化三年ヨリハ歎願ノ上減少シテ蛸壺飯蛸壺蛸釣リイサリ手操網五智網立網釣漁ハ一割六歩鰯鱒鮒等ノ網漁ハ一割一步二厘ヲ納メ維新後尚其額ヲ納メ居リシカ明治七年額二千九十二圓二十四錢四厘該收納全八年以來廢税証ハ参考書明石郡第十六号ニ掲載ストナリタリ

松江村

藤江村

當村漁業ハ維新後ヨリ創業セリ故ニ納稅セシメナシ
 今ヲ距ル百八十年前寶永年請浦稅トシテ鯨、平子、辛螺、
 鰈及飯章魚ノ漁業ニ付キ銀札八九百目又文政年間ハ
 漁船壹艘ニ付銀札四匁五分宛ヲ納メ以來漸次増加シ
 慶應ノ頃ハ一艘ニ付十五匁宛ヲ納メ維新後尚其額ヲ
 舊飾磨縣ハ納メ居リシカ明治八年以來廢稅トナリタ
 リ

谷八木村

從來漁稅ヲ納メシメナシ

江井嶋村

諸漁稅トシテ寶永年代ニハ鯨納地曳納鰻飯納等ニ五
 分一稅又漁船一艘ニ付銀三十五文目ヲ
詳細ハ參考書
 明石郡第三十

二考ニ納メリ其後天保年中ニハ沖打投網稅銀八文目
 揚載ス陸打投網稅銀六文目海鯽魚投釣稅銀四文目五分ヲ納
 メ維新後尚其額ヲ納メシカ全八年ニ至リ廢稅トナリ
 タリ

魚住村 西岡村

維新前ハ請所ト唱ヘ年々平子網一疊ニ付九銀二十匁
 余ヲ納メ維新後尚其額ヲ納メシカ全八年ニ至リ廢稅
 トナリタリ

中尾村

小網稅トシテ維新頃迄年々七錢八匁ヲ納メタリ

第三項 其他ニ關スル事

山田村

舊領主ニ於テ當村太郎左衛門茂八郎兩人所有ノ鰯網

株ノ以テ文政三辰年ヨリ明治三年迄年々遊漁セシニ
ヨリ名前代トシテ銀札百目ツ、ヲ支給セリ

大藏谷村 相生町

舊藩時代ニハ領主ヨリ年々漁税ノ額ニ應シ清酒若干
税額銀二百匁ニ付
酒五升宛ノ割合ニ付
ヲ給スルノ例アリタリ

林村

舊領主遊漁ノ為ノ當村字岸崎ヨリ松江村西外レ迄ハ
五月ヨリ十月頃醜迄ノ間ニ時々日ヲ期シテ手操網、
ナ網漁ヲ禁制セシテアリ

舊領主ヨリ大漁祈リトシテ曆陰二月初午ニハ氏神々社
ハ參詣代々參セリ此際ニハ網持漁者ハ各送迎スルノ例
ナリキ

舊領主ハ正月四日曆陰初漁ノ祝酒トシテ漁家毎戸ニ清

酒ヲ下與セシカ明治四年頃廢絶セリ

舊藩時代ヨリ漁魚祈禱料手當金伊勢出雲各社參詣費
其他浦方世話料トシテ毎年金九十圓十六錢八厘外ニ
米四斗八升宛舊藩主ヨリ支給シ維新以後尚續ヒテ之
ヲ支給アリテ浦方ハ之ヲ浦方ノ入費ニ充テ尚殘金ア
ルキハ漁夫總体ハ分配セシカ明治八年後廢セラレタ
リ詳細ハ參考書明石郡
第二十八号ニ掲載ス

藤江村

舊領主ノ遊漁ニ付禁漁及神社ニ參詣シ或ハ祝酒支給
ノ下ハ林村ニ全シ

江井嶋村

舊藩時代ニハ飯蛸ハ舊幕府ハ献上ノ品ナリシヲ以テ
其献上ヲ終ル迄ハ其漁業及賣買等ヲ禁止セリ但談献

上ノ品ハ本村ノ捕獲セシモノニ限レリ
 舊藩時代ニハ浦役ト唱ヘ上使其他諸領主等當海通行
 ノ片ハ漕船ノ為メ明石港ヘ出張シ滞在在中一日ニ米五
 合宛又漕船乗出シ其他勤務セシトキハ一日ニ米壹升
 宛又旅行里程十里以上ハ米三升宛ヲ給セラレタリ
ハ参考書明石郡第
 二十六号ニ掲載ス
 魚住村 西岡村

舊領主手船其他藩用船漕船ノ節支給米ノ下江井嶋村
 ニ全シ

第二款 規約及慣例

第一項 保護ニ關スル事

塩屋村

漁期 舊藩時代ニハ藩制ヲ以テ鰯網ハ六月乃至十二
 月繩網ハ三月乃至五月魚網ハ七月乃至十二月裙帶
 菜ハ二三月ニ以上共ト制限セシテ東壱水村ニ全シ

漁法 魚網使用ハ抽籤ヲ以テ隔日ニ順番ヲ定ム

東壱水村

漁期 舊藩時代ニハ左ノ如ク藩制ヲ以テ漁期ヲ定限
シ爾來慣行トナリ以テ方今ニ至レリ

鰯網ハ十一月乃至二月、鰯網ハ六月乃至十一月、玉筋

魚網ハ三月乃至五月、瀬戸貝掛ハ十一月乃至十二月、

裙帶菜二月乃至三月、手操網ハ五月朔日以上共ヨリ

三〇三〇

系

使用セリ但手繰網ハ維新后ニ至リ其制乱レタリ
漁法 地曳鰯ハ漁場即チ本村字尾谷ニ限リ抽籤ヲ以
テ捕漁ノ順番ヲ定ム立網ハ夜中配置スルヲ許ス
モ之ヲ揚ルヲ許サス蓋シ他人ノ捕獲物ヲ盜取ス
ルノ弊ヲ防ク為ナリ

西垂水村

漁期 舊藩時代鰯網鮎網裙帶菜ノ採捕ニ期節ヲ制限
セシト東垂水村ニ全シ

山田村

漁期 舊藩時代鰯網鮎網瀨戸貝掛裙帶菜取及手繰網ノ
漁期制限ノト東垂水村ニ全シ但鮎網ハ二月乃至五
月陰ニシテ明治三年頃特ニ其筋ノ許可ヲ得テ正月
ヨリ使用セシカ全四年後ハ其制乱レタリ

漁法 鰯網漁ハ該魚ノ群集スルヲ俟テ捕獲スルモノ

ナレハ網主本村佐野茂八郎大藏谷村卯月卯藏各一
リハ期節中内六日ハ卯月野網順番ヲ定メ互ニ漁業ヲ
ナスノ特約ナリ約定書参考書明石七自村ノ沖合ニ
於テハ此限ニアラス○立網ノ装置及揚ケ方ノト東
垂水村ニ全シ

大藏谷村

漁期 鰯漁ハ冬至ヨリ翌年春彼岸迄ヲ漁期トナスノ
例ナリシカ全十五年ニ至リ十一月中旬ヨリ翌年三
月中ヲ限リトセリ又明治八年前迄ハ玉筋魚網ハ春
彼岸ヨリ六月中迄鰯網ハ七月ヨリ冬至迄鯛網及手
繰網ハ六月ヨリ十一月中迄モ手網ハ九月ヨリ十一
月迄投網ハ六月ヨリ翌年四月迄章魚壺ハ三月ヨリ

此年

270

十一月迄鯽延縄、九月ヨリ冬至迄海鯽海鰻延縄ハ三月ヨリ十二月中迄イサリ鰻突ヲ五月ヨリ十月中迄ヲ以テ漁期卜定メシカ今年漁稅廢セラレシ以來ハ漸々其制弛廢セリ

漁具 鯛網ハ元舊藩主ノ特有ニシテ其大サ二百尋アリ維新后廢藩ノ際大藏谷村卯月宇藏へ拂下ケ目今尚全人ノ特有ニシテ他ニ新造スルモノナシ○鰯釣地引網ノ數々ハ慣行ノ定數アリテ猥リニ増加ヲ許サス

漁法 鰯漁ハ山田村佐野茂ハ郎網ト交番使用スルノ特約ハ山田村ニ全シ

相生町

漁期 大藏谷村ニ全シ

漁具 鰯釣地引網慣行ノ定數アリテ妄リニ増加ヲ許サス

戎町 新濱村 當津村

漁期 明治八年前迄鰯網、釣網、鰯網漁期ヲ制限セシ

大藏谷村ニ全シ

漁具 網數ニ定數アリテ猥リニ増加ヲ許サス

林村

漁具 鰯瀬引網ハ十六疊、鯛地引網ハ七疊、釣漁四艘張網ハ三十六疊、鰯漁網ハ二疊ヲ限り妄リニ増加スルヲ許サス

漁法 地引網ハ沖合ニ於テ魚ノ群集ヲ目撃セシモノヨリ網ヲ投ス但シ甲先キニ之ヲ目撃シタルヲ乙甲ニ先タテ投網セシハ其捕獲物ハ時宜ニヨリ之ヲ

分典スルヲアリ ○章魚壺漁ハ田畝ノ如ク各自持場
ヲ定メ該漁具ヲ配置スルナリ故ニ若シ他人過テ壺
上ニ重子置ク時ハ切りカハシ引揚ルヲ法トス ○立
網ハ順序ヲ立テ船ヲ止メ潮流和キタルヲ考ヘ陸地
ノ方ノ者ヨリ漸次ニ之ヲ投入スルノ例トス

藤江村

漁期 蠣、辛螺貝漕網ハ隣村ト申合セ十一月ヨリ翌年
四月頃迄ト定メシカ明治八年廢稅以來其制漸ク廢
絶セリ

漁具 鰯地引網ハ明治十三年隣村ト協議ノ上一疊限

新調セリ 漁船漁具寶永年度ノ現數考
考書第九号ニ掲載ス

漁法 章魚壺配置法林村ニ全シ

江井嶋村

漁期 飯章魚漁ハ毎年正月陰節分ヨリ向フ三十日間
ヲ好時期トシ其頭囊中ニ飯様ノモノ充ル迄ハ一切
捕獲セサルト申合セヲナセシモ近来ハ漁者互ニ
私利ヲ計リ其期ヲ乱ルモノ多ク為ニ其保護申合セ
モ廢絶セリ

漁法 章魚壺ハ甲者配置セシ上ヘ乙者之ヲ配置セシ
キハ其重リタル所前後二個ノ章魚壺ハ這入タル章
魚ハ共ニ甲者ノ有トスルノ法ナリ

魚住村 中尾村 西岡村

漁期 鰯網ハ七月ヨリ冬ニ至ル迄ヲ漁期トセシカ明
治八年漁稅廢セラレシヨリ其制漸ク廢絶セリ ○飯

章魚漁ハ二月上旬ヨリ三月中陰節迄ヲ漁期トセシカ
維新后其法乱レタリ ○藤江地先キヨリ加古郡本莊

村沖合迄ノ幸螺、蠣漕漁業ハ十一月ヨリ翌年四月迄
ヲ其期卜定メレトアリ

第二項 漁業ニ關スル事

第一節 漁一權

塩屋村

攝津國八部郡西須磨村ト漁場境畧相接スルヲ以テ寛
文十年頃江戸ニ於テ境塚ノ裁定ヲ受ケタリ裁定書ハ
参考書明
石郡第十号又明治十年地引網漁場區域ニ付東垂水村
ト約束セルトアリ規約書ハ参考書明石
郡第十号ニ掲載ス
章鱼壺漁場ハ地先八丁以内東攝播境ヨリ西山大藏谷村
西村境迄山田、西垂水、東垂水、及本村ノ四ヶ村ノ入會ニ
レテ又其八丁以外二十丁以内ハ西垂水、山田、大藏谷、林、
東垂水、本村及淡路津名郡岩屋ノ七ヶ村浦ノ入會ナリ

シカ文久年来其法弛ニ地先及沖合ノ別ナク共ニ入會
トナレリ

東垂水村

鰯網漁場ハ東攝播境ヨリ西加古郡境迄トス就中專漁
場トスル處ハ該攝播境ヨリ西山田村西兩村境且沖合
ハ二十丁以内トス
地引網其他ノ小漁ハ地先八丁ノ間東攝播境ヨリ西本
郡大藏谷村境迄山田、西垂水、塩屋及本村ノ四ヶ村入會
漁場ニレテ往古ヨリ連綿タリ但維新后一時西垂水、塩
屋ノ兩村ト申合地引網ニ限リ漁場區域ハ各自村地先
限リト取極メレトアリシカ暫クニレテ又舊ニ復シ入
會稼トナレリ詳細ハ参考書明石
郡第二号ニ掲載ス
章鱼引漁場其他漁場ノ事總テ塩屋村ニ全シ

西垂水村

章魚壺漁場ハ東垂水村ニ全シ

地引網玉筋魚漁場ハ山田村ト約メ境界ヲ定メタリ
定約書参考書明石郡第八号ニ掲載ス

山田村

縮網漁場ハ東ハ攝播境ヨリ西加古郡境迄沖合二十丁
以内ノ間ニシテ往古ヨリ連綿タリシカ明治八年中大
藏谷村卯月宇藏該網ヲ新製シ又明治十年中林村武藤
林兵衛外一人モ新製シタルヲ以テ特約ヲ結ビ各營業
ス約第六号ニ掲載ス但水漁場區域ニ付明治十九年
加古郡東二見村ト爭論アリテ遂ニ明石裁判所ノ裁定
ヲ受テ本村勝訴トナレリ
裁判書ハ参考書明石郡第七号ニ掲載ス
地引網其他ノ小漁及章魚壺漁場ハ東垂水村ニ全シ

玉筋魚四艘張漁場ハ塩屋村陸ヲ距凡三十町ノ沖合字
上ノ瀬ニシテ林、大藏谷、西垂水、東垂水、塩屋、本村及攝津
國八部郡西須磨、淡路國津名郡岩屋、諸村浦ノ入會漁場
ナリシカ維新後ハ其他一般ノ漁者ノ入會トナレリ
地引網玉筋魚漁場ハ西垂水村ト約シテ境界ヲ定メタ
リ約第八号ニ掲載ス
明石

大藏谷村 相生町

本村字狩口川大藏谷村ヨリ明石港口ニ至ル凡二十三
丁余沖手八丁ノ間ハ往古ヨリ本村鰯、玉筋魚地曳網ノ
漁場ナリシカ明治八年中相生町ニ地曳網ニ疊テ新製
シ加之其他ノ漁者増加セルニヨリ更ニ大藏谷村相生
町入會ノ漁場トナシ現今マテ連綿タリ
延繩其他ノ諸漁ハ沖ノ藻ノ生セシ所ノ前後ヲ漁場ト

レ郡内各漁者入會ナリ

鰯網ハ當郡海面ハ一定ノ所ナク使用ス又他方ニ行キ
シ片ハ相當ノ金負ヲ出レテ漁業ヲナスナリ

戎町 新濱 當津村

釣及網漁場ハ字古波戸ヨリ淡路津名郡野島村ノ内墓
浦字大石ヲ見通シ沖手ハ攝津八部郡字一ノ谷山裾ト
淡路松尾ノ鼻喰合見通シヲ境トシ西ハ加古郡境ヨリ
江井浦ヲ見通シ尤モ鹿ノ瀬通り字ウズ迄各網代ニ至
ル此間ハ林新濱前濱當津ノ入會ニシテ往古ヨリ連綿
タリ本場境畧ニ付淡路漁村及當郡林村等ト約束セリ
参考書ハ明石郡第十三号乃至十五号ニ掲載ス

林村

諸魚漁場ハ東字古波戸津船上村ト當ヨリ淡路墓浦字大
石ヲ見通シノ線ヨリ西加古郡境ヨリ淡路津名郡垂井

村ノ内江井浦ヲ見通シノ線マテトス而シテ攝津一ノ
谷ノ山裾ト淡路字松尾岬ト喰ヒ合フ見通シ西畧ニ至
ル迄ハ南畧トシ又本村ト松江村畧ヨリ鹿ノ瀬字「ウツ」
ヲ見通シ西畧ニ至ル迄ヲ北畧トシ東西三里南北一里
ノ間トス又右漁場西畧ノ所ニテ北畧見通シノ線ヨリ
鹿ノ瀬ニ沿フテ字「ウツ」ニ至ルニ里半其幅ハ該線ヨリ
南ハ東端ニテ十三丁西端ニテ七丁ノ間トス
以上二ヶ所ハ本村專漁場トナス又新濱前濱ノ二村ハ
釣業ニ限り入漁ヲ許セリ又鹿ノ瀬以南ハ淡路國津名
郡富島村ノ内舊机浦外三ヶ浦ト特約ヲ以テ漁業ヲ為
ス但天正十四年加古郡東二見村ト漁場ノ爭論アリ大
坂裁判所ノ裁定ニヨリ當村漁場定レリ該證書ハ當村
藤原太郎左近ナルモノ保管セシカ其後焼失シ該件ニ

兵庫縣

付巨額ノ金負ヲ費セシ為ノ鹿ノ瀬漁場ヲ抵當トナシ
 テ大坂問屋塩屋彌左衛門ヨリ借り入レ金ヲナシテ之
 ヲ處分シ爾後年々彌左衛門へ償却セリ 詳細ハ参考書
明石郡第十七
 号ニ掲載ス但明和四年ニ至リ向又寶曆十三年淡路無
 フ五十年分ヲ一田ニ渡セリ
 井村ノ内字江井浦トハ全第十加古郡東二見村ト全第十
 明和五年新濱前濱兩村ト全第二安永七年東二見村ト
 全第二十一号寛政七年淡路机浦ト漁場ノ爭論アリ又明治八
 年ヨリ全浦ト爭論ヲ開キ全十一年ニ至リ特約ヲ結ヒ
 紛義漸ク落着セリ 全第二
十号 又新濱前濱兩村ハ本漁場ニ
 於テ釣漁ノ外一ケ年限リ玉筋魚網漁 全第三
十号 又大藏谷
 山田壱水三ヶ村ハ鰯村網漁ニ限リ 歩分ハ三
稱レ本村ニ
 收入入漁スルヲ許セシトアリシカ明治八年後廢絶セ
 リ

本村漁場へ妄リニ侵入セシ時々其証書ヲ取りテ
 之レカ取締ヲナセリ
 鯉漁場ハ字古波戸ヨリ東當津村伊弉諾社前迄四丁ノ
 間又地先ヨリ沖八丁迄ノ間ニシテ全村地先海面ニシ
 テ本村ノ漁場ナリシカ明治十一年全村坂本松藏ト約
 定シ入會漁業セシム 全第五
号 又淡路松尾岬ヨリ西全墓
 浦字大石迄二里全地方ヨリ沖手へ八町ノ間ヲ以テ全
 漁場トシ全岩屋浦ト入會漁業ヲナス
 章魚其他漁場ハ東松江村陸ヲ去ル八丁ノ所ヨリ西鹿
 ノ瀬字「ウツ」ヲ見通シ二里半ニシテ西加古郡境ヨリ淡
 路江井浦見通ノ喰合ニ至ル之ヲ一方トシ又此喰合ヨ
 リ加古郡界見通シ陸ヲ去ル八丁ノ所迄一里半ニシテ
 之ヲ一方トシ又地方一般八丁ヲ距リ東界ヨリ西界ニ

至ルニ里半之ヲ一方トシ合シテ三角形以内トス此所
 ハ新濱、前濱、當津、松江、藤江、谷八木、江井島、魚住、中尾、西岡
 及本村ノ十一ヶ村ノ入會漁業トス又東攝播境字畷川
 ニテ陸ヲ去ルハ丁ノ所ヨリ紀州大川見通シ一里間ヲ
 東畷トシ西船上、當津村畷ニテ陸ヲ去ルハ丁ノ所ヨリ
 淡路基浦ヲ見通シ一里間ヲ西畷トシ其距離三里ノ間
 トス但シ該場ハ東西兩端ヨリ中央ニ至ルニ隨ヒ南北
 ノ幅一里アルモノハ漸減シテ半里トナル此所ハ塩屋
 東壱水、西壱水、山田、大藏谷、新濱、前濱、當津、本村及淡路岩
 屋浦ト十ヶ村ノ入會トス

舊藩時代ニハ村方ト浦方ト區別ヲ立テ村方ノモノハ
 海濱ニ出テ漁業スル丁ヲ得ス浦方ハ海面ヲ持占シテ
 漁業ヲ自由ニシ又海役ヲ初メリ右浦役ハ朝鮮人ノ來
 朝或ハ舊藩主江戸參勤ノ為ノ乘船ノ際漕船等種々其
 勤ヲナセリ全第ニ
十六号

松江村

本村ハ舊村方ニシテ漁業者ナク維新后創業セシニヨ
 リ別ニ漁權ナク東林村境ヨリ西藤江村境ニ至ル十丁
 沖手ハ八丁ノ間戎町新濱當津藤江谷八木ノ各村ト入
 會漁業ヲナシ以テ現今ニ至レリ

藤江村

地曳網漁場ハ中古以來漸次漁業衰退スルニ隨ヒテ自
 然ニ狹縮シ現今ハ東松江村境西谷八木村境ニ至ル十
 二丁半沖手ハ八丁ノ間ニシテ本村ノ專漁場トス
 手操網漁場ハ林村地先ヨリ西岡村地先ニ至ル地方ノ
 瀬網代地方ハニシテ隣地各村ノ入會トス

章魚其他諸漁ハ林、松江西村境ヨリ加古郡境マテ里程
 二里沖合ハ十丁ノ間ニシテ林、新濱、前濱、松江、當津、谷八
 木、江井嶋、七ヶ村ノ入會トス但シ林、松江西村境ヨリ谷
 八木村境ニ至ル間ノ浦方
 地先維新前ニ在テハ本村ノ支配ニシテ
 地先海面漁業モ本村ノ専漁場ナリキ
 舊藩ノ時代ニ村方浦方ノ區別アリテ漁業ヲナセシ
 林村ニ全シ全第三
 十号

谷八木村

本村漁場ハ東藤江村畧ヨリ淡路墓ノ浦見通シ沖合ハ
 拾八丁ノ所西江井島村畧ヨリ淡路江井浦ヲ見通シ沖
 合ハ二十丁ノ所ニ至ル間ニシテ此沖合字ドウノ磯ヨ
 リ東林村浄蓮寺ヲ見通シ東境迄八丁又該磯ヨリ西上
 島見通シ十五丁以内ニシテ藤江、林、江井島諸村ト入會
 トス

江井島村

章魚漁及立網漁場ハ東、谷八木村藤江村境ヨリ淡路墓
 浦見通シ六十丁西、加古郡境ヨリ淡路江井崎ヲ見通シ
 六十丁又沖ニテハ「マチカ磯」ニテ東、木崎鼻、一ノ谷、鉢
 ノ山見通シ西、赤穂ノ圓山ト上島ノ北ノ端見通シ此東
 西ノ間八拾丁余ノ間ニシテ本村ノ專業場ナリシカ近
 來谷八木、魚住、西岡、中尾、藤江、ノ諸村ト入會トナレリ
 採藻場ハ西、魚住村境ヨリ東、専平石マテ此間五丁陸ヲ
 距ルニ丁ノ間ニシテ本村ノ専有ナリ
 アブラノ漁場ハ西魚住村境ヨリ字廻り磯東西三丁陸
 ヲ去ル一丁ノ間ニシテ本村ノ専有ナリ

舊藩時代浦役ヲ勤ノシテ林村ニ全シ詳細ハ参考書明
 石郡第三十二号
 載ニ掲ス

魚住村 中尾村 西岡村

釣網漁場ハ江井島村章魚漁場及立網漁場ト全シ

第二節 仲間加入ノ仕来

塩屋村 東壱水村 西壱水村 山田村

本村ノ者新タニ漁業ヲ営ントスルハ先ツ漁者ノ兼
諾ヲ經テ後管轄廳ニ出願シ許可ヲ得テ加入ス其際西
壱水村ヲ除クノ外ハ皆新漁者ヨリ仲間入ト稱シ漁者
一統ハ銀二十匁ヲ遣リシカ維新後ハ廢セリ

藤江村

本村ハ新漁者ヨリ一人ニ付金五拾錢ヲ徴シ仲間加入
ヲ許スノ例ナリ是ハ維新後ノ申合ニシテ尚現行ス

江井島村

本村新漁業許可ノ手續ハ東壱水村ニ全シ但加入ノ際

仲間入りト稱シ公業中へ金十圓ヲ出ス然レモ其漁者
在来漁者ノ子弟ニシテ分家又ハ其他ノ事故アル者ナ
ラハ加入金五圓ヲ減ス而シテ該金ハ仲間ノ諸入費又
ハ海岸波戸場ノ修繕其他公業中ノ共議費ニ使用スル
ノ例ナリ

魚住村 中尾村 西岡村

本村新漁者ハ舊漁者ノ兼諾ヲ經加入金トシテ魚住村
ハ金貳圓五十錢中尾西岡兩村ハ金三十錢ヲ出スノ例
ナリ

第三節 他方ノ漁夫来漁ニ係ル手續

林村

本村漁場即鹿ノ瀬鯛漁場字南ノ瀬端外五ヶ所ニ於テ
維新前ニハ淡路國津名郡壱井村ノ内江井浦漁者外三

名毎年陰曆三月ヨリ五月マテノ約束ヲ以テ相當金貨
ヲ收入シテ入漁ヲ許セシトアリ 詳細ハ参考書明石郡
第二十七号ニ掲載ス

藤江村

他方ノ漁者本村占有ノ漁場へ新ニ入漁セシトスルキ
ハ自村ノ都合ニ依リ之ヲ許ストアリ然ルキハ其捕獲
物ノ二分或ハ三分ヲ浦方へ徴集シ本村浦方ノ入費ニ
充ツ其徴集方ハ彼我ノ協議ニ依リ捕獲物又ハ代金ヲ
以テス

谷八木村 江井島村

藤江村漁者松岡松五郎ナル者所有ノ地曳網ヲ以テ當
村漁場ニ於テ漁業ヲナス片ハ其捕獲高ノ十分ノ二ヲ
當漁者中へ徴收スル約束アリ 約定書参考書明石郡第
三十一号ニ掲載ス

第四節 販賣ノ仕方

塩屋村 東壱水村 西壱水村

出買ト稱スル者アリ漁者ハ概ネ直ニ之ニ賣渡シ十五
日勘定ヲ以テ取引ヲナス故ニ市場ニ輸送スルモノハ
僅ニ一分ニ過キス

山田村

捕魚ハ直ニ明石市街ノ運輸シ即金ヲ以テ取引ヲナス
又出買商へ販賣スルモノハ僅々捕獲高ノ一分ニ過キ
ス

大藏谷村 相生町

捕漁セシ魚ハ直ニ明石東魚町ノ市場ヨリニ港揚場へ
運輸シ即金ニテ取引ス但問屋口錢ハ壹割以下トス然
レモ捕魚ハ現今市場賣稀ニシテ専ラ出買商船ニ直ニ

賣込ニ即金ヲ以テ取引レ別ニ手数料及ヒ口錢ナシ
鮓小鰯ノ類ハ捕獲ノ際直ニ煮納家煮鰯等ヲ製スル
營業者ヲ云フハ
即金ヲ以テ賣却ス

戎町 新濱村 當津村

問屋ニ市街問屋ト濱立問屋トノ二様アリ市街問屋ハ
市場ニ登ル魚奴ヲ自他ノ論ナク賣買シ口錢五分ヲ引
キ即金ニテ取引ス濱立問屋ハ林村舊五分一役所漁所稅
ノ前ノ市場ニ於テ賣買シ十五日勘定ヲ以テ取引ス但
シ問屋口錢ハ一割九分ヲ漁者ヨリ三分ヲ仲買ヨリ徵
收シタリキ

林村

捕漁セシ魚奴ハ直チニ本村舊五分一役所漁所稅前ニ設
ケシ市場ニ賣却スル下當津村ニ全シ

松江村

捕漁セシ魚奴ハ地方ノ需用者へ直ニ小賣ヲナス

藤江村

捕漁セシ魚奴ハ従前ハ明石町仲買商ヲ經由シテ大坂
市場へ運送セシカ現今ハ甚夕衰へ僅ニ小賣商ニ賣捌
クノミ

江井島村

従前ハ濱方ニ問屋アリテ其問屋ハ仕入金トシテ年々
漁者中へ資金ヲ貸附ケ漁者捕獲ノ魚奴ハ總テ其問屋
へ賣捌キタレ比現今ハ其慣行廢シ自由賣買トナレリ

第五節 漁村維持並救恤

谷漁村

漁船若シ海中ニ於テ暴風等ノ難ニ罹ルヲ見認ムルモ

ノアル片ハ直ニ危険ヲ冒シテ之ヲ救援スルノ例ナリ

第三項 雜事

塩屋村 東壱水村 西壱水村 山田村

祝ヒ 網漁出テントスル片其手配全ク終ルヲ網却ト

稱シ家族及漁夫一同相集リ酒宴ヲ張ルノ例ナリ

鰯鰯大漁ノ片ハ祝下シテ漁夫一統ハ紅深手拭ヲ給

スルナリ

祭祀禁忌 漁者ノ信仰スル神ハ其數甚ク多シ就中歸

依スルハ佳吉神及西宮蛭子神ニシテ至ル所此社ア

ラサルハナレ而シテ年内一二回漁夫申合セ總代ヲ

設ケテ談社ニ參詣シ歸家ノ上ハ漁者一統酒宴ヲ催

シテ之ヲ祝シ且漁業上一切ノ事ヲ談話スルノ例ナ

リ○漁戸ニ産婦アル片ハ男児ナレハ三日女子ナレ

ハ五日間出漁セサルノ例ナリ

雜件 毎月十五日 曆陰漁夫一統休業スルノ慣行ナリ

大藏谷村 相生町

祝ヒ 従前網却シノ節ハ其漁業ニ係ル漁夫等ヲ饗應

シタリシカ現今ハ廢セリ然レモ漁網ノ新製又ハ漁

事ノ終リタル片ハ關係ノ漁夫等ニ酒肴等ヲ供シテ

其勞ヲ慰スルナリ○鰯大漁ノ片ハ談關係人ハ赤

又ハ鬱金深ノ手拭ヲ與ヘ又網船等ニハ赤幟等ヲ建

テ之ヲ祝スルヲ例トス

祭祀禁忌 漁夫ノ信仰スル神ハ蛭子神佳吉神高取稻

荷神等ナリ就中最モ歸依スルハ蛭子神ニシテ毎年

八月廿二日 曆陰浦祭ト稱シテ之ヲ祭ル又鰯大漁アル

カ又ハ大漁ノ兆アル片ハ之ヲ祭り各網主ハ關係ノ

漁夫等ヲ集メ酒飯ヲ供ヒテ其祝福ヲ祈リ亦漁事一切ノ事項ヲ談話スルヲ例トス

我町 新濱村 當津村

祝ヒ 網卸シ網仕舞ノ祝ヒ自今ハ廢セリ但シ大漁ノ節ハ漁夫等へ赤深手拭ヲ給シ網船杯ニ赤幟ヲ立テテ之ヲ祝スルノ例ナリ

祭祀禁忌 漁夫ノ信仰スル神ハ天照太神出雲大社蛭

子住吉ノ兩神トス就中多ク帰依スルモノハ天照太

神及西ノ宮蛭子神ニシテ參詣及歸家祝宴ノ下塩屋

村ニ公シ○漁戸ニ産婦アルキハ日數十一日間ハ必

ス他ノ漁夫ト一切交通ヲ絶ツ蓋シ海神ハ産穢ヲ忌

ムト云フニヨルナリ

雜件 毎月十五日陰曆漁村一統休業スルノ慣例ナリシ

カ方今廢セリ

林村

祝ヒ 網卸シ網揚ケニハ漁夫共ニ酒食等ヲ以テ饗應

シ或ハ大漁ノ片ハ雇夫等ニ揃メ手拭ヲ與ハ網船杯

ニハ幟ヲ建テ之ヲ祝スルノ例ナリ

雇夫給食 雇夫ニ食ヲ給スルハ朝晝夕ノ三回トス但

大漁ニテ徹夜スルキハ臨時握リ飯ヲ與フル下アリ

飯ノ添ハ香ノ物或ハ捕魚等ニシテ醤油或ハ塩ヲ以

テ之ヲ調理ス

祭祀禁忌 漁夫ノ信仰スル神ハ天照太神出雲大社西

宮蛭子社住吉神トス○産穢ノ下我町ニ公シ

休業ノ例 毎月十四日日没ヨリ翌十五日日没迄陰曆休

業スルノ例ナリ

藤江村

祝ヒ 林村ト全シ

雇夫給食 雇夫ノ食ハ總テ自辦ニ屬スト雖比鰯大漁ニテ徹夜スルキハ臨時握リ飯ヲ給スル下林村ニ全シ

祭祀禁忌 林村ニ全シ

谷八木村

祭祀禁忌 漁夫共毎年正月十日曆陰蛭子講ト唱へ隣村

藤江村漁夫ト酒宴ヲ催シ且ツ年内漁業一切ノ事ヲ共議ス

休業ノ例 塩屋村ニ全シ

江井島村

祭祀禁忌 漁夫ノ信仰スル神ハ蛭子神住吉神稻荷神

等ナリ就中帰依スルモノハ西宮蛭子神ニシテ漁期

中ニハ年々一回ハ必ス参詣ス○毎年正月十日曆陰ニ

ハ十日蛭子ト唱へ漁夫相集リ大酒宴ヲ催シ漁業ニ

關スル一切ノ事ヲ談話ス此日ハ年中漁業ノ持場ヲ

定ムルヲ例トス○當村海岸ニハ年々復期ニ至レハ

海亀来ツテ海濱ニ卵ヲ産ム漁人是レヲ知ルキハ其

周圍ニ注連繩ヲ張り決シテ之ヲ取ラス若シ之ヲ取

ルモノアラハ暴風起ルト信レ居ルナリ○産穢ノ事

當津村ニ全シ

休業ノ例 塩屋村ニ全シ

魚住村

祝ヒ 當津村ニ全シ

祭祀禁忌 漁夫ノ信仰スル神ハ天照太神出雲大社蛭

子神住吉神ナリ就中滯依スルモノハ天照太神西宮
蛭子神トス參詣祝宴ノ丁塩屋村ニ全シ○産穢ノ事
ハ當津村ニ全シ

中尾村

祝ヒ 當津村ニ全シ

祭祀禁忌 魚住村ニ全シ

西岡村

祝ヒ 當津村ニ全シ

祭祀禁忌 魚住村ニ全シ

第三款 犯則違例ノ處分

林村

休業日ノ例ヲ守ラス出漁スレハ其捕獲物ヲ浦方へ收
メテ村費ニ充ツルモノトス

谷八木村 江井嶋村

公前ノ節ニハ仲間共議ノ上二日乃至三日間漁業ヲ停
止スルノ例ナリ

第二章 漁撈

第一款 種類

第一項 品名

郡内産出ノ水産物品名凡ノ如シ

鰯

烏賊

玉筋魚

飯章魚

鰯魚

鮎魚

鱧

飯

辛螺

鰯

べら

海鰻

鱸魚

裙帶菜

鰈

蠣

章鱼

鯛

ノソ

鮫

鱒

マンジユ貝

真章魚

竹蛭

鰯

河豚

小鰈

小海老

鰯

鱈

鰻

鱈

鮎魚

海鰻

鯖

鱈

鱈

雜喉

鮎

ノシ口

瀬戸貝

鱈

鰯

第二項

大小輕重

系

魚

節分后九十九日ヲ經テ當海ニ來ル之ヲ「チリメシ」又ハ
 「トロノシ」ト云フ此魚ハ居所常ニ定ラス東ヨリ漸ク西
 ニ去ル又七月ヨリ十月迄ハ大小ノモノ交々往來ス大
 谷村調査
 二ヨル

飯章魚

孚化后八九十日ヲ經過スレハ「ク」モ章魚ト云フ此量九
 七奴アリ二百四十日ヲ經過スレハ頭囊ニ飯ヲ生ス此
 量十八奴許アリ是レ即チ飯章魚ニシテ二月上旬頃ヲ
 最モ佳味ノ時トス江井 壺ニヨル村調

鰯

寒中ニ孚化シ六十日ヲ過レハ一寸トナル之ヲ「イナ」ト
 云フ量七二百四十日ヲ過クレハ六寸トナル量四滿一
 ケ年ヲ經テ一尺トナル是レ即チ鰯ナリ此量百滿二ケ

年ヲ過レハ一尺七八寸トナル此量二百最モ佳味ナル
 八十一月頃トス大藏 壺ニヨル村調

海鰻

五月頃孚化シ二百日ヲ經過シテ二寸五分トナレリ此
 五月二四月翌年九月頃ニ至リ六寸トナル此量七三年目ニ
 シテ一尺余トナル此量三最モ佳味ナルハ二三月トス

大藏 壺ニヨル村調

鰈

十二月中ニ産卵シ翌年六月ニ至テ一寸五分トナリ十
 一月ニ至リテ五六寸トナリ此量五滿二ケ年ヲ經テ一
 尺二三寸トナル此量三最モ佳味ナル七月頃ニシテ三
 年目ヲ佳味ノ度トス大藏 壺ニヨル村調

鯛

孚化後百八十日ヲ經過スレハ二寸トナル之ヲ「カスゴ」
 ト云フ此量ニ翌年八月ニ至レハ大サ五六寸ニ至ル是
 レ即チ鯛ナリ四年ニシテ一尺五六寸ニ及フ是ヲ最モ
 佳味ノ時トス當津村調

章魚

十一月頃ニ孚化シ翌年六月ニ至リ量目三十目トナリ
 満一ケ年ヲ經テ量目百目トナル最モ佳味ナルハ七月
 頃ニシテ孚化後二三年ノモノヲ最モヨロシトス大藏谷村
調査ニ

真章魚

孚化後二百十日ヲ經過スレハ「テナ」ト云フ此量八十目
 アリ以後成長シタルモノ即チ真章魚ナリ

鰯

孚化後六十日ヲ經過スレハ「シヲ」ト云フ其大サ八九分
 ナリ全百二十日ヲ過キ六七寸トナル此量六之ヲ「ツバ
 ス」ト云ヒ全百八十日ヲ過キ一尺二三寸トナル之ヲ「ハ
 マチ」ト云ヒ此量ニ翌年八月頃ニ至レハ二尺九寸トナ
 ル之ヲ「シロ」ト云フ此量ニ最モ佳味ナルハ十月頃ト
當津村調

鰹魚

孚化後六十日ヲ經過スレハ一寸位此量一一年ニ至レ
 ハ六寸トナル之ヲツムギト云フ量七十目ニ及フ三月
 頃ヲ佳味ノ時トス江井村調

海鰻鱺

孚化ノ季節詳ナラス八月頃三寸翌年二月ニハ一尺許
 トナル此量ニ最モ佳味ナルハ十二月頃トス大藏谷村
調査ニ

真章魚

鯪

浮化後百八十日ヲ經過スレバ一尺五寸トナル之ヲ
 ゴレト云ヒ此量二百翌年十一月頃ニ至レハ二尺トナ
 ル之レヲヤナキト云ヒ此量六百三ヶ年目ニ至テ二尺五
 六寸ニ及フ此量百目是即テ鯪ナリ最モ佳味ナルハ十一
 月頃トス當津ヨ村調

鱸

浮化後百八十日ヲ經過スレハ五六寸トナル之ヲセ
 ゴト云フ此量五年ニ至レハ鱸ト稱シ一尺二三寸ア
 リ此量ニ三年目ニ至リ一尺七八寸ニ及フ此量三是則
 テ最モ佳味ノ時ナリ而レテ其時期ハ六七月頃トス當
 津ヨ村調

第二款 漁期 第一項 期節

捕魚採藻ノ期節左ノ如シ

品名	期節	品名	期節
品名	期節	品名	期節
玉筋魚	自四月至六月	玉筋魚	自四月至六月
烏賊	自九月至十月	烏賊	自九月至十月
飯章魚	自五月至七月	飯章魚	自五月至七月
鱧	自七月至九月	鱧	自七月至九月
辛螺	自十一月至正月	辛螺	自十一月至正月
鰯	自七月至九月	鰯	自七月至九月
下ラ	自七月至九月	下ラ	自七月至九月

系

海鰈	二月三月	三月																																						
裙帶菜	三月四月	三月																																						
鰒	自七月 至九月																																							
章魚	自二月 至十月																																							
鯛																																								
真章魚																																								
ノソ																																								
河豚																																								
小海老																																								
鱒																																								
鮒																																								
鱸																																								

鱸	自四月 至七月																																					
瀬戸貝	自正月 至正月																																					
鱈																																						

第二項 氣象

七月頃ヨリ北風微吹スル片ハ鰯漁ニヨシ又四五月頃今
 様ナル片ハ「チリメ」ト「ロメ」ト玉筋魚等海岸へ近寄ルモ
 ノナリヨル大藏谷村調査ニ〇八九月頃數日風雨ナケレハ鰯
 洋中ニ群集スルモ海岸ニ近寄「ナシ」俗ニ「タシ」地ノ「ヤケ
 ト」モ「フ」然レハ驟雨アルカ又ハ夜陰北風吹ク片ハ忽チ海
 岸ニ近寄り地曳網ノ收利最モ多シ〇西北風ニテ怒濤岸
 ヲ洗ヒ海岸濁リヲ現ハス片ハ海鰯鰮鱸等ノ投網漁ノ收
 利多シ〇淡路嶋ノ西端ニ黒雲起ルハ将ニ雨ヲラントス
 ルノ兆ナリ〇春夏ニ南風秋ニ北風アル片ハ鰯釣漁ニ良

シ若シ之ニ反スレハ不漁ナリ當津ヨリ調○四月ノ交南風
 吹ク片ハ諸魚群来ス十一月ニ西風吹ク片ハ他ニ退散
 シテ捕獲ニ由ナシ林村調査ニヨ○氣候頃ニシテ二月南
 風ウ方言ヨ吹ケハ南海ヨリ諸魚群来シテ生育ニ好シ斯カ
 ル年ハ捕魚多レト云フ○天氣平和ト雖比小豆嶋及ヒ鳴
 門ノ間ニ申西ノ黒雲起ル時ハ強西風ヤ方言ハ吹キ海面浪
 立テ甚シキハ漁船ヲ浮フルニ由ナキニ至ルテアリ○ハ
 九月東北風コ方言北ヲ生シ黒雲ヲ起シ風位辰巳ナ方言イニ
 變スル時ハ暴風雨トナル尙未申ノ方位ニ轉スル比ハ最
 モ猛烈ノ勢トナリ人家其他喬木諸舟等ニ大害ヲ與フ○
 秋季晴日ノ時或ハ大雨ノ後非常ニ逆潮起リ潮水濁ルア
 リ是レ氣候ノ變ニシテ必ス東風コ方言猛烈トナルノ前兆

ナリ○海水ノ漲溢スルハ暴風ノ前兆ナリ江井ヨリ調

第三項 群来ノ前兆

鰯及玉筋魚ノ群来セルトスル比ハ海面ニ淡赤色ヲ呈シ
 又ハ鷗等ノ沖合ヲ群飛シ或ハ章魚ヲ漁スルニ鰯ヲ逐ヒ
 来ル鰯鮫鱈ノ章魚ノ邊ニ雜居スルヲ見ル林村調査

第四項 去来ノ期節及方向

其年ノ季候ニヨリテ異同アリト雖比概テ四月ヲ以テ来
 期トシ十一月ヲ以テ去期トス通路ハ南海ヨリ来リ明石
 海ヲ通過シ遂ニ讚岐備前ノ間ニ入ル俗ニ之ヲ魚嶋ト云
 フ其帰ルニ及ンテヤ復ヒ南海ニ向フト云フ但シ鰯ハ寒
 候ニ至リ東ヨリ群来シ翌年暖候ニ至リ西ニ去ル又鰯鮫
 ハ南ヨリ来リ東ニ至リ後チ西ニ去ルモノトス塩屋村調

第三款 漁 場

塩屋村

區域

諸魚ノ漁場ハ本村沖合東攝播境界ヨリ紀伊國

大川見通シ地方ヲ距ル六十丁ノ所トス○裾帶菜採

取場ハ地方ヲ距ル七八丁字積立磯ト云フ暗礁ヨリ

以內六丁ノ間ニアリ

潮流

潮流ハ常ニ東西ニ往來シ春ハ最モ急ニシテ冬

ハ緩ナリ又明石海峡ハ尤モ急流ニシテ一帶ノ川形

ヲ為ス之ヲ早潮方咭ヨト云フ

水底ノ概狀 地先海面七八丁以內ノ所ハ深サ七尋許

ニシテ海底小砂利ナリ又進ンテ十五六丁ノ所ニ至

レハ深サ十七八尋許アリ

東垂水村

區域 諸魚ノ漁場

ヲ地引網多クハ本村沖合暗礁及積立

礫ストニアリ地先ヲ距ル丁七八丁ノ所トス○裙帶菜採收場塩屋村ニ全シ

潮流 塩屋村ニ全シ

水底ノ概狀 地先海面四五丁以内ハ深サ七尋許ニシ

テ海底ハ小砂利ナリ又進レテ七丁ノ所ハ平磯ト云ヒ八丁ニシテ積立ト云フ暗礁アリ此所ハ深サ僅ニ

三尋ナルヲ以テ通行ノ船舶ヲ損スル丁少カラズ明治八年頃ヨリ浮標ノ設アリテ漸ク其險ヲ避ル丁ヲ

得ルニ至レリ

西垂水村

區域 諸魚ノ漁場及裙帶菜採取場ハ塩屋村ニ全シ

潮流 塩屋村ニ全シ

水底ノ概狀 地先海面二丁ノ所ハ字「ヨツナ」ト云フ暗

礁アリ又地先四五丁以内ハ深サ七尋許ニシテ海底小砂利ナリ又十五六丁ノ所ハ深ニ拾尋許トス

山田村

區域 諸魚場ハ本村沖合字高倉ノ暗礁ニアリ地方ヲ

距ル三丁ナリ

水底ノ概狀 海岸接近ノ所ハ深サ十尋アリ十二三丁

ノ沖合ニ至レハ深サ三十五尋許ナリ而シテ水底砂利ナリ但本村宮ノ沖三丁計リノ所ニ高倉ト稱スル

暗礁アリ

大藏谷村 相生町

區域 地引網漁場ハ東本村字狩口川ヨリ西明石港ニ

至ル二十三丁余ノ間ニアリ猶其他ノ漁業ハ概子陸

ヨ距レ一丁程ノ沖アジ藻叢生
岸ニ沿レテ數ノ間ニ
在リ

潮流 塩屋村ニ全シ

水底ノ概状 海岸ニ接近セシ所ハ一帯ノ砂利ナリ是
レヨリ四五間ノ沖合ハ小砂ナリト云俗洲尚進レテハ
十間ヨリ百間ニ至レハアヂ藻海岸ニ平行シテ叢生
ス其幅五間乃至十間此邊ハ深サ八尋ナリ是ヨリ沖
合ニ至ルニ隨ヒ漸次ニ深ク陸ヲ距ルハ丁ニシテ十
二尋十丁ニシテ十四尋十五丁ニシテ十八尋アリ以
往遂ニ七十五尋ノ深キニ至ル

戎町 新濱 雷津村

區域 鯛釣漁場ハ多クハ西壱水村ヨリ山田村ニ至ル
沖合字磯ノ上ト稱スル所ニ在リ此所ハ西壱水村字

鳥崎ヨリ山田村沖字川尻迄沖合十三丁程ノ間ニシ
テ明石ノ瀬戸ト唱ヘ淡播間ノ海峡ニシテ其幅三拾
町ニ過キズ故ニ潮水ハ常ニ急流ナリ其深サ七拾尋
アリ海底ニハ暗礁頗ル多クシテ鯛鮓或ハ瀬戸具等
ノ好漁場トス尚一ノ漁場ハ松江村ヨリ八木村ニ至
ル地先字瀬端ハシヤカリトト稱スル所ニシテ沖合
八丁程ノ間ハ多ク釣漁ニ供ス此所ハ潮流甚ク急ニ
シテ深サ百拾尋ヲ下ラス而シテ海底ニハ暗礁多シ
亦良漁場ト云フヘシ

潮流 塩屋村ニ全シ

水底ノ概状 山田村沖合ハ即チ明石海峡ニシテ深サ
五拾尋乃至七拾尋又明石港沖合十五丁ノ所ハ深サ
六十尋乃至七十尋又松江村沖合貳十丁ノ所ハ八十

尋乃至百十尋許ナリ

林村

區域 鱒、鮒、魚、場、ハ、加古郡二見村ノ沖合字鹿ノ瀬ニシテ其中央迄ハ明石港ヲ距ル卯ノ方位四里ナリ其深サ三尋乃至十八九尋ニシテ海底ニハ暗礁等更ニナシ

○章魚、鰯、魚、場、ハ、本村地先字上ノシテヤ南ノセバ「タ」「マ」、頭「下」ノ松出「上」ダ「レ」フ「カ」リ「ト」ウ「ケ」イ「走」リ「渡」シ「松」江「越」藤「江」越「ミ」ク「頭」イ「マ」ゼ「上」ノ松「カ」シ「上」ミ「ク」仲ノヒジ「高」ハ「タ」今「瀬」高「ツ」キノ網代ヲ以テ要所トス此所ハ東字古波戸ヨリ西西岡村字岩鼻迄二里許ノ間ニシテ深サ四尋乃至百十尋ナリ海底ニハ所々ニ暗礁多クシテ最モ章魚ノ生育ニ適ス

潮流 塩屋村ニ全シ

水底ノ概状 本村沖合陸ヲ距ル二十丁ノ所ヲ字「ク」シヤ「テ」ト云ヒ水底ニ小暗礁アリ深サ十尋乃至七十尋又ハ木村ヨリ一里ノ沖合深サ四尋乃至二十尋ノ所ヲ字高ハ「タ」ト云ヒ水底小砂利ナリ以上各場春夏ノ候ハ鰯魚群集シ或ハ冬春ノ候辛螺、牡蛎、瀬戸貝等生育シ又ハ年中章魚壺ヲ装置スル臺トナスト云フ又二見村ヲ距ル「一」二里半ノ沖合ハ深サ三尋乃至十七八尋ニテ字鹿ノ瀬ニ至ル此所水底細沙ニシテ春候玉筋魚、鱒、鰯、群集ス

松江村

區域 諸魚ノ漁場ハ東、林村境ヨリ西、藤江村境ニ至ル十丁沖手ハ八丁ノ間トス

潮流 塩屋村ニ全シ

水底ノ概状 本村地先ハ深サ概子四尋内外トス

藤江村 区域 章魚漁場ハ松江村ヨリ沖手ヘ十丁ノ所ヨリ申

ノ方二里ノ所迄ニアリ ○鯨魚場ハ林村ヨリ沖手ヘ

四丁ノ所ヨリ岸ニ沿フテ西ヘ二里半ノ間ニシテ其

深サ四尋内外海底ニ「ア」ジ藻ノアル所ニアリ ○辛螺

蠣其他諸魚及捕漁場ハ松江村ヨリ沖手十六丁ノ所

ヨリ申ノ方位二里程ノ間ニシテ海底小砂利アル所

ニアリ

潮流 塩屋村ニ全シ

水底ノ概状 本村沖合十六丁ノ所深サ四尋アリ此所

ヲ字「マ」ノ内ト云水底小砂利ニシテ鯨及章魚群来

スハ木村沖合二十丁ノ所深サ四尋半アリ此所ヲ「マ

」ノ下ト云フ水底小砂利ニシテ所々ニ暗礁アリ此

所ニハ諸魚群来シ或ハ冬春ノ候ハ多ク辛螺章魚等

生育ス

谷八木村 区域 蛸壺漁場ハ江井嶋村ニ全シ ○鮑魚小海老ベラ

漁場ハ東ホシ場ヨリ西八木藻ニ至ル十七八丁陸ヲ

去ル二十丁ノ沖合トス ○蛸釣漁場ハ東ハ藤江村境

ヨリ淡路國墓ノ浦見通シ沖合十八丁西ハ江井嶋村

境ヨリ淡路國江井浦見通シ沖合二十丁東西二十三

丁以内トス

潮流 塩屋村ニ全シ

水底ノ概状 本村ヨリ沖合二十丁計リノ所字寺出シ

ト稱ス其底ハ七尋ニシテ岩アリ之ヲ「チ」ナノトコト

云又海岸ニ接近スル所ハ砂底ニシテ深サ二尋乃至三尋半ナリ以上各所ハ總テ雜魚群来ノ所ナリ又字ホシ場ハ深サ八尋ニシテ多ク藻ヲ生ス又字八木藻ハ深サ六尋ニシテ亦多ク藻ヲ生ス此所陸ヲ距ル二丁乃至八丁ナリ

江井鴻村

區域 蛸壺立網小鯛ノ用 雜喉手操網 章魚釣 鯽延繩 雜喉延繩等ノ漁場ハ海底砂筋ヲ除クノ外各所ニ於テス ○四艘張網鯛魚小鰻魚用 鮎流シ網 投網鯛魚海鰆用 鮎地曳網等ノ漁場ハ東谷八木藤江村境ヨリ西木郡境ニ至ル八十丁沖合へ一丁餘ノ間トス ○辛螺牡蛎捕獲場ハ本村地先海面字松合セノ瀨西南北十二丁東 共中央迄ハ陸ヨリナガノ磯東西十丁南北二十丁中央 十丁ナリ

リ貝漬場東テ西陸ヲ去ル各八丁ニ トス龜魚踏場ハ字廻リ磯一圓トス此所ハ東西三丁南北一丁ナリ ○採藻場ハ字磯ノ有一圓トス此所ハ東西五丁南北一丁ナリ

潮流 塩屋村ニ全シ

水底ノ概状 本村沖合四丁ノ所ハ岩ノ上ト稱シ水底岩石ニシテ多ク海藻ヲ生ス深サ三尋乃至四尋半アリ其他海岸ニ接スル所ハ岩或ハ砂ニシテ一定ナラス 鰯魚常ニ群来ス ○字貝漬場ハ陸ヲ距ル九丁餘ノ所ニアリ海底小石ニシテ深サ四尋二尺アリ ○字團平石磯ハ陸ヲ距ル九丁半ニシテ海底ハ小石ナリ深四尋二尺アリ ○字小磯ハ陸ヲ距ル二十一丁ニシテ海底大石尺許六ナリ深サ五尋一尺アリ ○字ボウノ

磯ハ陸ヲ距ル二十二丁ニシテ海底ハ小石ナリ深サ
 四尋三尺アリ○字ナダノ磯ハ陸ヲ去ル二十五丁海
 底ハ小石ニシテ所々ニ大石ヲ交ス深サ五尋一尺ア
 リ○字横マヽハ陸ヲ去ル二十六丁ニシテ海底ハ砂
 石ナリ深サ五尋アリ○字沖ノ磯ハ陸ヲ距ル二十八
 丁ニシテ海底ハ大石ナリ深サ五尋二尺アリ○字磯
 場ハ陸ヲ距ル三十二丁ニシテ海底ハ小石ナリ深サ
 五尋アリ○字溝筋ハ陸ヲ距ル三十七丁ニシテ一條
 ノ溝状ヲナシ東西ニ通ス依テ此名アリ溝中ノ深サ
 九尋兩邊ハ深四尋半許ナリ○字下マヽノ下ハ陸ヲ
 距ル四十丁ニシテ海底ハ小石ナリ深サ七尋二尺ア
 リ○字下マヽノ下磯ハ陸ヲ距ル四十丁ニシテ海底
 ハ小石ナリ深サ七尋二尺アリ○字ハマチが磯場ハ

陸ヲ距ル六十五丁ニシテ海底ハ大石ナリ深サ七尋
 アリ

魚住村 中尾村 西岡村

區域 蛸壺、建網、手操網、蛸釣、鯿繩、雜喉、延繩、漁場及採貝

場ハ江井嶋村ニ合シ

潮流 塩屋村ニ合シ

中尾村 西岡村

區域 魚住村ニ合シ

潮流 塩屋村ニ合シ

水底ノ概状 海岸ニ接近セシ所ハ深サ三尋許此所ヲ

田井ノ藻ト云フ水底岩石ナリ三月頃ヨリ諸魚群来

ス又陸ヲ距ル三丁計リノ所ニアガ藻叢生ス之ヲ根

ト云ヒ採繩ヲ配置スル所トス

第四款 入會漁船ノ數

塩屋村

一 諸魚漁場

漁船總數百五十艘 一人一乘 明治十九年十月調

内

淡路岩屋浦漁船 四十艘

攝津須磨漁船 三十艘

今 駒ヶ林漁船 四十艘

明石新濱漁船 二十艘

木村漁船 二十艘

當漁場ハ明治五六年ノ頃迄ハ漁船僅ニ四五十艘許ナリシカ年々増加シ遂ニ本文ノ數トナレリ

東垂水村

一諸魚漁場

漁船總數百七十艘二但一人乘

明治十九年六月調

内

淡路岩屋浦漁船

五十艘

明石新濱漁船

六十艘

隣村漁船

二十艘

木村漁船

四十艘

當漁場ノ景況ハ塩屋村ニ全シ

西垂水村

一諸魚漁場

漁船總數百七十艘二但一人乘

明治十九年六月調

内

淡路岩屋漁船

三十艘

明石新濱漁船

七十艘

隣村漁船

五十艘

木村漁船

二十艘

當漁場景況塩屋村ニ全シ

山田村

一諸魚漁場

漁船總數百七十艘二但一人乘

明治十九年六月調

内

明石新濱漁船

七十艘

隣村漁船

六十艘

木村漁船

四十艘

當漁場明治元年頃迄ハ漁船僅ニ八十艘許ナリシカ

今十年頃ヨリ年々増加シ遂ニ本文ノ數トナレリ

大藏谷村 相生町

一諸延繩漁並章魚漁場

漁船總數二百五十四艘 但一艘 二人乘 明治十九年七月調

内

淡路地方ノ漁船 百四十艘

兵庫地方ノ漁船 六艘

加古郡高砂地方ノ漁船 十艘

本郡林村新地方ノ漁船 五十艘

大藏谷相生町漁船 四十八艘

當漁場ハ明治十三四年頃迄ハ漁船百艘許ナリシカ
全十五六年以來年々増加シ遂ニ本文ノ數トナレリ

戎町 新濱 當津村

一諸魚沖漁場

漁船總數六百十九艘 但一艘 二人乘 明治十九年十一月調

内

林村漁船 百五十艘

新濱漁船 三百九艘

戎町漁船 百九艘

當津村漁船 五十一艘

當漁船ハ明治二年頃迄ハ漁船三百四十艘許ナリシ
カ全三年頃ヨリ漸々増加シ遂ニ本文ノ數トナレリ

林村

一諸魚漁場

漁船總數六百三十九艘

内

新濱村漁船 三百十艘

明治十九年六月調

前濱漁船 百十艘

當津村漁船 六十艘

本村漁船 百五十九艘

當漁場、明治六年頃迄、漁船五百七十艘許ナリシ
カ漁稅廢セラレシヨリ他ヨリ來漁スルモノ多ク凡
百五十艘モ侵入スルトナリ為ノニ頗ル増加セリ

松江村

一諸魚漁場

漁船總數七十八艘 二伍人一乘艘 年明治十九

内

林村漁船 六十艘

藤江村漁船 十五艘

本村漁船 三艘

藤江村

一諸魚漁場

漁船總數二百五十八艘 年明治十九

内

新濱漁船 六十艘

前濱漁船 三十艘

當津村漁船 二十艘

林村漁船 六十艘

松江村漁船 三艘

江井嶋村漁船 三十艘

谷八木村漁船 四十艘

本村漁船 十五艘

當漁場、明治六年頃、漁船百七十八艘許ナリシカ

近年不漁ニシテ大網職ノ者モ小漁師ニ變シタルト
明治八年廢稅トナリシヨリ年々増加シタルトニヨ
リ遂ニ本文ノ數トナレリ

谷八木村

一諸魚漁場

漁船總數六十六艘

二但一乘

九年明治調

内

林村漁船

三十艘

藤江村漁船

十二艘

江井嶋村漁船

二十艘

本村漁船

四艘

江井嶋村

一沖漁場

漁船總數六十三艘

明治十九年六月調

内

藤江村漁船

十艘

魚住村漁船

八艘

中尾村漁船

一艘

西岡村漁船

十一艘

谷八木村漁船

四艘

本村漁船

二十九艘

當漁場ハ維新前ハ本村漁船ノミナリシカ爾後追々
各村ヨリ入漁シ遂ニ本文ノ數トナレリ

魚住村

中尾村

西岡村

一沖漁場

漁船總數七十艘

明治十九年六月調

内

江井嶋村漁船 二十九艘

中尾村漁船 四艘

西園村漁船 十九艘

木村漁船 十八艘

當漁場ハ明治二年頃ハ漁船十四艘許ナリシカ爾後
漸ク増加シ遂ニ本文ノ數トナレリ

第五款 漁具

第一項 漁網及釣具等

漁具現數 左ノ如シ

但海鰯釣雜魚拵繩アルモ其數詳ナラサルニヨリ略

手筋魚拵網 數疊	玉筋魚地曳網 數疊	烏賊釣 數本	鰯釣 數本	鰯八田網 數疊	鰯持網 數疊	鰯地曳網 數疊	漁具名
一五	六	七〇				三	東亞村
六	六	六				五	山田村
	七	二〇			八	七	塩屋村
	四					四	藤村
	五				八	五	藤村
	一					一	望生町
			三			一	當津村
			四〇〇				新濱
			一五〇				戎町
				二	六	六	林村
						一	藤村
						一	藤村
							松江村
							谷本村
							鬼村
							魚住村
							雷村
二一	二九	九六	六六二	二	九四	三四	合計

鯛子網	鯛地曳網	鯛海鰯鱈魚網	牡蛎海鰯鱈魚網	鯛イサリ	鯛拵繩	鯛釣	鯛建網	鯛曳網	裙帶菜卷	鱈魚掛	海鰯拵繩	ベラ釣
數疊	數疊	數疊	數疊	數把	數桶	數本	數把	數疊	數把	數把	數桶	數本
		一		五							三〇	
									二〇			四〇
				三								
		一		九	一〇						四	
	一			八							二四	
						一四				二〇〇	五〇	
						九〇				三〇〇	六〇	
						四五				三〇〇	一〇〇	
四八			三五	三八							八	
			一二	一五			九〇	八				
			二四								九六	
			一									
												二〇
三												二
												九〇
二					二	二〇	八〇	八	二〇	四〇	四〇	四〇
五三	一	二	三	六	二	一五	九〇	八	二〇	四〇	四〇	四〇

鰯流網	鰯網	鰯拵繩	鰯釣	鰯網	鰯拵繩	イサリ釣	鰯海鰯鱈打網	鰯魚海鰯鱈網	海髪毛網	鰯魚釣	鰯魚曳網	玉助魚曳網
數把	數疊	數桶	數本	數疊	數桶	數本	數疊	數疊	數疊	數本	數疊	數疊
	一				三〇		五					
							六					
	一						八					
							三					
	一						一					
							四					
		六	一〇〇		二〇〇	一〇〇				三〇〇		三
		三五	五〇〇		二〇〇	二五〇				三〇〇		
		九〇	一九〇		一〇〇	九〇	二			三〇〇		二
	二			一						一四〇		二
九六〇							七	一	三〇	一〇	一四〇	
							三					
							六					
							八					
							二					四〇〇
九六〇	五	四〇六	七五〇	一	五三〇	四〇	四	一	三〇	三〇〇	七〇	一

漁船現數 左ノ如シ

第二項 漁船

鱸釣 數本	鱸拵繩 數桶	瀬貞掛 數挺	鮓釣 數本	雜魚 年線網 數盞	鱈釣 數本	鱈網 數盞
				三〇		
	二〇	一〇		二〇		
				一〇		
				三		
	八			八		
三						
一五〇	四〇	五	二〇		一〇〇	
六〇	一七五	四〇	一五〇	一〇	五〇	
六〇	六〇	四	六〇	一〇	三〇	
		三〇		八〇		二
	九	四		一三		
				一		
		四		二		
				二		
				三		
	二五			一六		
	四			二八		
六三	三四	一〇	三〇	三五	三〇	二

種別	一間漁船	一間半漁船	二間漁船
東亞水村	六		四
西葉村	二六		五
山田村	三四		一八
塩屋村	三		三〇
藏村			九
相町		五	二
菅津村	五		
新濱	二七		
戎町			七〇
林村			一五
藤江村	一五		二
新井村			
松江村	五		
谷木村	四		
中尾村			
魚住村			
西岡村	七		一三
合計	四八	五	三三

三間半漁船	三間漁船
	五
	七
	一三
	二
	四
	二九
四	
一八	
二二	六〇

系

第六款 漁法

鰯漁

地曳網 持網 津名郡ニ全シ

八田網 漁期八月中旬ニ至レハ夜陰就中曇天ナルヲ

良時トナシ漁船一艘ニ七人乗組ニ漁網一疊ヲ又外

一艘ニ六人乗組其網ノ網ヲ積ニ都合二艘ヲ以テ漕

キ出ツ魚見人ハ各船ニ在テ其群游ヲ視察シ即チ網

ニ網ヲ繫キテ網ヲ布クノ手續キヲ為サシム此ニ於

テ網船ハ左ニ分レテ半月形ニ投網シ迂回シテ遂ニ

兩船相合シ尋テ脱魚ヲ防ク為ノ竿ヲ以テ水面ヲ叩

テ之ヲ駆リ而シテ網ヲ繰リ揚ケ恰モ抄ヒタルカ如

クナシテ之ヲ捕獲ス但シ網船ハ網ノニ網船ハ網ノ

ミヲ曳クモノトス 林ヨル 林ヨル 調査

釣 漁期夏秋ニシテ漁船一艘ニ二人乗組一人一本宛
ヲ携へ本郡及淡路岩屋浦和帆崎沖合ニ於テ漁ス其
他津名郡ニ全シ新濱調査

烏賊漁

釣 漁船一艘ニ二人乗組内一人ハ舳ニ居リ長一丈五
尺及九尺ノ釣竿二本ヲ携フ其長短アルハ釣糸ノ縛
レ合フヲ防ク為ノナリ而シテ竿頭ニ一厘錢四五ヶ
及長凡六尺許ノ天蚕糸ヲ付シ糸端ニ釣具ヲ括リ付
ケ以テ船ノ左右ヨリ海中へ突出セリ又一人ハ艦ニ
在リ同一ノ装置ヲ以テ釣ヲ垂レ尚外ニ各自一箇宛
同形ノ手釣具ヲ垂ル斯クテ潮流ニ逆フテ漕キ行ク
片ハ釣具ハ形蝦等ニ模倣セシニヨリ恰モ蝦等水中
ヲ游泳スルカ如シ此ヲ以テ烏賊ハ餌料ト誤リ食セ

シトシテ来リ其釣具ニ抱キ付ケハ忽チ竿頭ニ感シ
テ其括付セシ厘錢動鳴ス漁夫之ヲ見テ即チ引上ク
レハ烏賊ハ釣具ノ尾ニ装置セル釣刺ニ掛リ遂ニ捕
獲セラレ、ナリ但同夜ハ通宵間断ナク又日出或ハ
日没ノ頃ハ漁スルヲ得ルモ暗夜ナルキハ櫓篋又ハ
釣具ノ流潮ニ激シハ潮水ノ光ヲ起シ烏賊忽チ驚
キ散スル故ニ漁スルヲ得サルモノトス東海ヨリ調

玉筋魚漁

四艘張網 八部郡ニ全シ

地曳網 漁期三四月ニ至レハ漁船一艘ニテ出漁ス便
用法ハ鰯網ト同一ナルモ魚見船ヲ用ヒス方言メク
ラ曳ト唱へ只推側ヲ以テ各處ニ網ヲ投ス該魚ハ水
面ニ浮ハス常ニ水底砂地ニ群集スルモノナリ故ニ

晝間ノ漁業トス該網ハ総体藁製ニシテ網目大ナリ
 而シテ袋ノニ布ヲ用ヒタリ蓋シ藁網ノ動揺ニ恐怖
 シ其目ヲ通過シテ居所ヲ求メ遂ニ布袋ヲ見テ以テ
 砂地ト為シ皆来リテ此ニ群集セルモノナルヘシ其
 他ハ津名郡ニ全シ大藏谷村調
 餌床玉網 玉筋魚群游ノトキ水上及水中ヨリ海鳥之
 ヲ逐ヒ圍ムキハ該魚ハ驚畏シテ恰モ塊團ノ如ク相
 凝集スルモノナリ漁夫之ヲ視察シ該網ヲ以テ之レ
 ヲ抄ヒ揚ルモノトス但大ナル抄網ナルヲ以テ網頭
 ニ一線ノ糸ヲ付シ一人ハ之ヲ引キ一人ハ網柄ヲ持
 テ以テ使用スルモノトス東釜水村調

飯章魚漁 貝壺繩 漁期立春ニ始マリ其レヨリ八十八夜頃迄九

三ヶ月間使用ス其法真章魚壺繩ニ全シ而シテ海中
 ニ配置セシヨリ二三日乃至七八日間ヲ經過シテ線
 リ揚ケ捕獲ス林村調 查
 釣 漁期十一月ニシテ其法真章魚釣ニ全シ林村調 查

海髮採

夕モ網 採期ハ陰曆七月ノ節ヲ中央トシテ其前後三
 十日間トス此藻ハ沖合ノ岩石ニ生シ波濤ノ為メニ
 切レ流レテ本浦字廻リ磯有ノ所ニ集マリ寄ルモノ
 ナリ抑該地ハ海ニ突出シ潮流自カラ急ナルヲ以テ
 斯ノ如ク流レ集マルナルヘシ漁夫ハ干潮ヲ察レ漁
 船一艘ニ二人乘組ミ夕マ網ヲ以テ抄ヒ揚クルナリ
江井島村調

鰯魚漁

四艘張網 揖西郡ニ全シ

打網 漁期八月ヨリ翌年二月迄ニシテ風波ニヨリ水

中濁リヲ生シタル片沖合藻生ノ場所ニ於テ使用ス

漁船ハ一艘ニシテ二人乗ナリ而レテ一人ハ櫓ヲ押

シ一人ハ網手トス但本業ハ専ラ日中ノ業トス大谷村

ヨ調査ニ〇陸打投スル於テ網ヲハ九月ヨリ十一月迄沖

打海上ニ於テ使ハ十月ヨリ十二月迄ノ漁期ニシテ

潮ノヤエル潮流止ミタル時ヨリ満潮セントスル時

ヲ良時トス江井島村調

鮎魚漁

釣 漁船一艘ニ三人乗組ニ釣ヲ垂ル餌料蝦トス新濱

ルニヨ

鮎魚

鮎網 漁期九月ニ至レハ漁船二艘ニ該網一疊ヲ分載

シ各六人乗組漕出ス本漁ハ昼間ノ業ニシテ一人ノ

魚見人其群来ヲ視察シ潮流ノ緩急魚ノ方向ヲ考ヘ

令シテ分載ノ網ヲ左右ニ分布シテ弧線ニ曳キ廻シ

両船相合シ尚引違ヒニ進レテ網ノ両袖ト云フ紐手ヲ

繫キ合シ直ニ網中へ押入り竹ニテ水面ヲ叩キ以テ

魚ヲ威ス魚ハ吃驚シテ網外へ去ラレトシ網ノ目ニ

掛ル漁者其度ヲ考ヘ網袖ノ結合ヲ解キ遂ニ之ヲ繰

リ揚ケ魚ヲ收ム林村調

拵繩 漁期八十八夜ヨリ六月末迄ノ間ニシテ漁船一

艘ニ三人乗組該漁具五桶ヲ備ヘ餌料玉筋魚ヲ用ヒ

撰津一ノ谷沖ヨリ本郡沖合及ヒ淡路沖合ニ於テ漁

ス新濱調

系

釣 漁期春夏秋ニアリ漁船一艘ニ二人或ハ三人乗組

餌料章魚鱒ヲ用ヒ字鹿ノ瀬ニ於テ漁ス新濱調査

鱧魚

拵繩 漁期春夏ニアリ漁船一艘ニ四人乗組ニ該具二

十桶ヲ積ニ鹿ノ瀬ヨリ江井島沖迄及淡路地方島飼

濱邊迄ノ間ニ於テ使用ス餌料ハ章魚足及鮑魚トス

新濱調査 ○漁船一艘ニ三人乗組該具ハ桶ヲ積ニ鮑

魚ノ子ヲ餌料トナレ出漁ス西垂ヨル村調

辛螺漁

漕網 蛎漕網ヲ以テ蛎ト同時ニ漁スルモノトス江井村

ヨ調査ニ

鰯漁

鰯網 津名郡ニ鰯 漁期十二月ニ至レハ手船三艘ニ各

二人乗組ニ沖合ヲ漕キ廻リ各船相距ル九十間ニ

シテ良漁時ヲ視察シ投網ヲ指揮ス網船ハ二艘ニ各七

人宛兼組該網ヲ中央ヨリ折半シテ其一部宛ヲ積ニ

相連リテ進行シ手船ノ指揮ヲ待ツ抑モ鰯ハ冬季ニ

至レハ多キハ數萬尾相群行シ頻リニ水面ニ踊り出

テ恰モ水ノ涌カ如キ景状ヲ呈スルモノナリ此ニ於

テ網ヲ布キ漁ス其法津名郡ニ全シ但網ヲ布キ了リ

手船ハ網口ノ方ヨリ棹ヲ以テ鷺々乎トシテ水面ヲ

打テ以テ魚ヲ威スナリ大藏谷村調 夜間海渚ヨリ

流網 冬春ノ間漁船一艘ニ二人乗組ニ夜間海渚ヨリ

五六間隔テ、九十把ヲ繫キ南ヨリ北ニ一線ニ海底

ニ下シ潮流ニ従テ流スナリ九一時間ヲ経テ之ヲ揚

ク斯ノ如ク幾回ニ流ス此使用中高ク音聲ヲ登スル

ヲ禁セリ江井島村調

海鯽魚

魚網 鯽魚網ニテ鯛ト同時ニ漁ス

打網 鯽魚打網ニテ鯽魚ト同時ニ漁ス

拵繩 漁期五月中旬ニ至レハ潮水濁リ而レテ其流ル

ル緩ナルキヲ待テ漁船一艘ニ二人乗組漕出シ餌料

蝦等ヲ用ヒテ配置ス九一時間ヲ経テ繰リ上テ捕獲

スニ林ヨル調査 ○漁期四五月頃ニレテ漁船一艘ニ三人

乗組該具八桶ヲ積ニ本郡沖合ニ於テ漁スニ新濱調査

○漁船一艘ニ二人乗組該具四桶ヲ積ニ蝦ヲ餌料ト

シテ漁ス西垂ヨル村調 赤穂郡ニ今シ餌料ハシヤコ蝦トス西岡村調

鱈魚漁

鱈魚掛 漁船一艘ニ三人乗組一艘ニ二筋ニ一筋ニ三筋ニ

積ニ鹿ノ瀬ニ於テ漁スニ新濱調査

裙帶菜採

裙帶菜卷 潮流ノ緩ナル時該具ヲ取り所在ノ場所ニ

至リ卷キ採ルモツトス東岳水村調

鰈魚

曳網 漁期七月ニ至レハ漁船一艘ニ二人乗組ニ該網

ヲ積ニ乘リ出ス抑該魚ハ海底ノ藻中ニ潜居スルヲ

以テ晝夜ヲ論セス急潮ヲ見テ漁スルヲ可トス備之

ヲ使用スルニ網ニ附ケタル網ノ一方ニ浮樽ヲ結ヒ

付テ海中へ投シワレヨリ潮上へ漕キナカラ之ヲ延

シ續テ網ヲ布キ而レテ再ヒ浮樽ノ所迄流レ来リ樽

ヲ船中ニ取り是レヨリ船ヲ横ニナシ之ヲ曳ク但レ

一枚ノ莖ノ四隅ニ繩ヲ付ケテ船ニ繫キ而シテ潮下
 へ投込ニ以テ流潮ヲ受ケシメテ碇ニ代用ス此ニ於
 テ乘組ノモノ左右ニ相分レテ網ヲ繰リ揚ケ以テ捕
 獲スルモノトス藤江村調
 建網 漁期五月ニ至レハ夜間漁船一艘ニ二人乗組ニ
 該網一疊三十把ヲ以テ使用ス其法林村ノ建網
 ニ合シ藤江村調 ○晝漁ニハ八十把夜漁ニハ六十把
 ヲ繫キ東西へ併行セシメテ配置ス西岡村調
 釣 漁期初冬ヨリ翌年夏期ニ至ル迄ニシテ漁船一艘
 ニ三人乗組ニ撰津一ノ谷沖ヨリ本郡沖合鹿ノ瀬淡
 路室津沖合字前ノ瀬及加古郡ノ沖合ニ於テ使用ス
 但シ該釣法ニ漕釣ト立釣トノ二種アリ漕釣ハ餌料
 鰯魚ノ半身立釣ハ鱈殘魚及ベラヲ用フ新濱調

イサリ 漁期四月ヨリ著手ス即チ漁船ニ三人乗組ニ
 各自ニイサリヲ持チ干潮ノ極度ヨリ満潮三四歩ニ
 及ブ迄ノ間沖合砂地ニ於テ各漁夫齊シク漁船ノ一
 方ニ列リ頻リニ海底ヲ突ク以テ方言鼈突ト云フ鰈
 ハ之ヲ知ラス其濁リヲ見テ餌ヲ求メトテ来リ即
 チ漁夫ノ捕獲スル所トナルナリ大藏谷村調

鯨魚 鯨釣魚ニ合シ但シ餌料鰯ヲ用エ蓄津ヨ村調

蛎漁 漕網 加古郡牡蛎網ニ合シ

鯛魚 該網ハ期節二月ヨリ九月迄ニシテ漁船一艘ニ
 該網ヲ搭載シ十人乗ニテ漕出ス海岸ニハ曳子十人

都合二十人ヲ要ス而シテ魚群ヲ目撃セルトキハ潮流ノ緩急ヲ考ヘ直チニ網ヲ投シテ捕獲スルモノナリ
東至水村調

地曳網 漁期六月ヨリ十一月迄ニシテ晴天緩潮ノ時
ヲ見テ漁船一艘ニ二人乗組ニ該網ヲ積載セ漕出ス
但一端ノ網ハ陸地ニ止メ延テ圓形ニ布キ廻り陸地ニ
歸リ而シテ曳キ揚ケ捕獲スルノ鰯地曳網ニ全シ大

谷村調査

ゴチ網 八部郡ニ全シ

建網 漁期五月ヨリ漁船一艘ニ二人乗組晝間ハ八十
把夜間ハ六十把ヲ一繫トナシ使用ス其法ハ建網
ニ全シ西岡村調

拵繩 漁期ハ夏秋ニシテ漁船一艘ニ三人乗組該具二

十桶ヲ積ミ本郡沖合就中字鹿ノ瀬ヨリ摂津一ノ谷
沖合ノ間ニ於テ使用ス餌料ハ飯章魚ヲ用ユ其他津
名郡ニ全シ新濱調査

釣 釣漁ニ三種アリ各々漁期ニ應シ之ヲ用ユルモノ
ニシテ漁船一艘ニ二人乗組ニ各一本宛ヲ備ヘテ漕
出テ使用ス餌ハ夏ハ蝦秋ハ章魚烏賊、蝦ヲ用ユ又ニ
本釣ニハ其短ナルモノニハ生活セル手長章魚烏賊
ノ頭ヲ刺シ長釣ノ方ニ其足部ヲ釣ケ用ユルモノト
ス新濱調査

刀魚漁

釣 漁期九月ヨリ十一月迄ニシテ月夜漁船一艘ニ二
人乗組ニ一人ニ付三本ノ釣ヲ携テ漕出テ、使用ス
該漁場ハ深サ概テ十五六尋アリ而シテ該魚ハ海底

ヨリ九七尋計リノ中間ヲ游泳スルヲ以テ長一丈四
リ九二寸ノ竹竿ニ九八尋ノ釣糸ヲ附シ鱒ヲ餌料ト
ナシテ漁スルモノトス 東垂水村調

△シマジヨロウ漁

△シマジヨロウ掛マ方言ス漁船一艘ニ二人乗組ニ一艘
ニ付該具四丁ヲ以テ鹿ノ瀬或ハ淡路室津前ノ瀬ニ
於テ漁ス 當津村調

△ツ漁

建網 漁期五月ニ至レハ夜陰群ヲナス此時ヲトレ漁
船一艘ニ四人乗組ニ漁網一疊 六十把ヲ載セ漕キ
出シ潮流ノ緩急ヲ考ヘ浮樽ニ網ノ一端ヲ投入レ尋テ
一直線ニ網ヲ布キ終テ浮樽ヲ投レ置キ暫ラク其所
ニ繫船シ潮流ノ起ルヲ待テ其投レ終リタル方ヨリ

繰リ上クレハ該魚ハ網目ニ罹レリ 林ヨル調 ○ヤエ

潮 満潮又ハ干潮ノ終 夜間或ハ陰曆五、六、七、十一、十二

十三日ノ夜明又ハ暮方ニ漁船一艘ニ二人乗組漕出

シ該網二十把ヲ一繫トナシ凡三十分間配置スルモ

ノトス之ヲ夏底建網ト云フ又秋季ニ至リ使用スル

ヲ秋底建網ト云フ亦夜業ニシテ使用法夏漁ト異ナ

ル 江井島村調

拵繩 漁期ハ夏ヨリ十二月頃迄ニシテ本郡沖合攝津

一ノ谷沖合ニ於テ漁船一艘ニ二人乗組該具二十桶

ヲ積ニ餌料玉筋魚、鱒、章魚ノ類ヲ用ヒテ漁ス 新濱調

鯨漁

釣 漁期ハ五月ヨリ十一月迄ノ間ニシテ漁船一艘ニ

三人乘組ニ各一本ヲ持テ餌料蝦、章魚ヲ用ヒ本郡沖
合ニ於テ漁スニ新濱調査

真章魚漁

壺繩 漁期ハ年中ニシテ一艘ノ漁船ニ壺繩一筋乃至
二筋ヲ積ミ四人乘組ニテ使用ス抑モ該魚ハ大小砂
判或ハ磯等ノ網代ニ生息スル者ナレハ該所ニ乘出
シ二三ヶ所ノ山ヲ建テ山立ノ解津名郡飯章潮流ニ
隨ヒ該繩ヲ一直線ニ沈ム然レモ潮ノ緩急ト網代ノ
如何ニヨリ「く」ノ字形其他種々ニ泥ノ復タ山立ヲナ
シ置キ歸ル章魚ハ以テ自己ノ住所トナレテ之レニ
潜居レ而レテ壺口ニ頭ヲ出レテ食餌ヲ求メリ斯ク
テ春秋兩期ハ三四日間夏ハ毎日或ハ隔日冬ハ三四
日乃至二十日間計リテ經過レテ該所ニ乘出テ最キ

ニ定メ置キタル山立ニヨリ繩ノ所在ヲ知リ「スマル」
破ハヲ以テ繩端ニ掛ケ揚ケ章魚ハ其壺ノ振動ニヨリ
畏縮シテ壺底ニ隱匿シテ去ラス水上ニ揚ルモ高固
著シ頑乎トシテ愈動カス即チ壺ヲ取り其後ヘヲ叩
ケハ吃驚シ忽焉トシテ壺外ニ出ツ即チ之ヲ捕獲シ
テ船腹ノ浴簾ニ入レ置クナリ從來本郡有名ナル海
藤花ハ即チ章魚ノ卵ニシテ該壺内ニ産付シタルモ
ノトス林村大藏谷村
調査ニヨル
釣 漁期ハ五月頃ニシテ漁船一艘ニ二人乘組ニ潮ノ
和クヲ待チ釣糸ノ先ニ釣具方言ヲ付ケ餌料章魚
足ヲ刺シ各四五本ヲ船ノ左右ヨリ投込ニ兩手ニ之
ヲ持チ潮流ニ隨テ釣ル章魚ハ其餌ヲ食ハレトシテ
之ニ觸ル漁者ハ稍手ニ重キヲ感スルニヨリ即チ引

鱈漁

揚クルナリ藤江村調○潮流ノ如何ニヨリ遠近アリ
テ凡地方ヨリ三四丁乃至三里計リノ間ニアリ林村
ルニヨ西岡村調○本村ハ餌料ニ鮒、鰯魚ヲ用ユ西岡村調

併繩

漁期夏日ニシテ漁船一艘ニ三人乗組該具十桶
ヲ備ヘ餌料章魚ヲ用ヒテ本郡沖合ニ於テ漁ス新濱
ルニヨ

鯽漁

魚網

鯽魚網ニテ鮎ト同時ニ漁ス

釣

漁期節分ヨリ百日頃ヲ始トシ是ヨリ五十日間ニ
シテ漁船一艘ニ三人乗組一人各一本ヲ携ヘ餌料玉
筋魚ヲ用ヒ攝津一ノ谷及本郡沖合或ハ淡路沖合ニ
於テ漁ス新濱調○餌料カスゴヲ用フ西岡村調

河豚漁

併繩 使用法海鰻鱺漁ニ全シ但東西ニ併行レテ配置
シ一日間ヲ經過シテ繰揚ク餌料ハ小鯛、鰯魚、鯽、鰯ニ
シテ生活マシモノニ限ル否ラサルモノハ其用ヲナ
サス江井島村調

釣

漁期立春ヨリ百日目ヲ始メトシ夫レヨリ凡三十
日間ニシテ鹿ノ瀬近傍ニ於テ漁船一艘ニ三人乗組
ニ章魚ヲ餌料トナシテ漁ス新濱調

鮪漁

釣

漁期夏秋ノ頃ニシテ漁船一艘ニ二人乗組各一本
宛ヲ携ヘ餌料蝦ヲ用ヒ攝津和田岬一ノ谷本郡或ハ
淡路沖合ニシテ海藻ノ所ニ於テ漁ス新濱調

鱈漁

建網 夜間漁船一艘ニ二人乘組該網ヲ積ミ二十把ヲ

一繫トナシ以テ海底ニ流シ漁ス其使用法ハハワ魚

建網ニ全江井島村調查ニヨル

拵繩 漁期六月ヨリ十月迄ニシテ漁船一艘ニ三人乘

組該具十五桶ヲ積ミ本郡沖合ヨリ淡路沖合ノ間ニ

於テ漁ス餌料ハ鰯玉筋魚ヲ用フ新濱調查

魷魚漁

底建網 漁期五月至レハ潮流穏和ノ時漁船一艘ニ該

網四十把ヲ搭載シ二人乘組陸ヲ距ル三丁乃至八丁

許リノ沖合ニ漕出テ四十把相繫キテ海中ニ配置シ

翌早朝之ヲ揚ケ捕獲ス東並水村調查ニヨル

小手網 漁夫一人左手ニ該網ヲ執リ之ヲ海底小石ノ

所ニ入ル其網口ヲ自己ノ方ニ向ケ右手ニ押竹ヲ持

テ足ヲ以テ海底ヲ攪拌シテ魚ヲ逐フテ網中ニ驅リ

入レ漁スルナリ江井島村調查ニヨル

釣 漁期初冬ヨリ翌年四月迄ノ間ニシテ漁船一艘ニ

三人乘組餌料蝦ヲ用ヒ攝津一ノ谷沖ヨリ本郡沖鹿

ノ瀬近傍ニ於テ漁ス新濱調查

拵繩 漁期初冬ヨリ翌年初夏迄ノ間ニシテ漁船一艘

ニ三人乘組一艘ニ該具二十桶ヲ餌料蝦ヲ用ヒ前項

同前ノ漁場及淡路地方ノ海面ニ於テ漁ス當津村調查ニヨル

○漁船一艘ニ二人乘組該具四桶ヲ積ミ漕出シ之ヲ

配置シ凡一時間許リヲ經過シテ曳揚ケ捕獲ス水西村

調查ニヨル

海鰻鱺漁

拵繩 漁船一艘ニ三人乘組二十桶ヲ積ミ漕出テ沖合

鱈漁

藻生所ノ中心トナシ前後相跨ケ九折形ニ該繩ヲ
 配置シ潮流ノ干満ヲ一期トナシ之ヲ繰リ揚ケ魚ヲ
 漁獲ス但満潮ノ際ヲ以テ最モ良漁時トシ玉筋魚、鰯、
 飯章魚ヲ餌料トナシ漁ス但該繩ニハ五十尋毎ニ凡
 百目許ノ石ヲ附シ沈トス而シテ繩端ニハ二升樽ノ
 如キ浮標ヲ添付シ置クナリ大藏ヨル村調
 漁期ハ立春ヨリ七十日ノ頃ヲ始トシ是ヨリ八月
 迄ニシテ漁船一艘ニ三人乗組鹿ノ瀬或ハ淡路地方
 或ハ淡路岩屋岬端ヨリ東摂津一ノ谷沖合迄ノ間ニ
 於テ漁ス其他飾東郡ニ全シ當津ヨル村調

鯖漁

釣 鱈釣ニ全シ

鱈漁

鱈網 漁期立春ヨリ百日目ニ至レハ漁船ト方言ヨモ右
 ノ方ニ居ルモ一艘ニ網ヲ積三十四人乗組ム外ニ一艘
 方ニ居ルモトテ網ノ九人乗組都合二艘ニテ漕出

潮ノ上流ニ於テ右方ヨリ網ヲ布キ順次下流ニ廻リ
 逐ニ両船相合シ而シテ之ヲ曳ク但シ網口ヨリ魚脱
 去スルノ恐レアルニヨリ捧ヲ水中へ投ケ込ミツ、
 漸次繰リ揚ケ既ニ揚クルト七八分ニ至レハ又「イ」
 ノ方ヲモ繰リ揚ケテ魚ヲ収ム林村調査
 釣 漁期ハ四五月及十月頃ヨリ十二月頃迄ニシテ本
 郡沖合就中鹿ノ瀬ニ於テ專テ使用ス別ニ餌料ヲ用
 ヒス但漁船一艘ニ三人乗組劇風ニ乗シ帆走シ或ハ
 穩風ニハ凡三丁許櫓走シテ漁スルモノトス新濱調

雜魚漁

手繰網 漁期六月ヨリ十一月頃ニシテ藻生ノ場所ニ於テ使用スルモノナリ使用法ハ漁船一艘ニ二人乘組緩潮ノ際潮ノ上流ヨリ網ヲ投シ漁夫相共ニ櫓ヲ押シ流ニ隨テ九五丁許漕キ下リ而シテ網ヲ繰リ揚ク但網細ハ船ノ腹梁ノ右方ニ括リ付ケリ斯ノ如クシテ使用スルト一日幾回ニ及ヘリ其捕漁中主ナルモノハ六月ハ鮠魚七八月ハ鰻九、十、十一月ハ各種トス 相生町調査ニヨル

併繩 漁期四月ヨリ十二月迄ニシテイソバ海中ノヤク蝦海産スニ以テ餌料トナシ南ヨリ北ニ幾回往返シテ該繩ヲ投ス繩ノ首尾ニハ浮樽ヲ付シテ目

標トナセリ 江井島村調査ニヨル

鮎漁

釣 漁期初冬ノ頃ヨリ翌年四月頃迄ニシテ漁船一艘ニ三人乗組ニ餌料蝦及玉筋魚ヲ用ヒ本郡地先海面及淡路地方ニ於テ漁ス 新濱調査

瀬戸貝漁

瀬戸貝掛 方言ニ漁期十二月ニ至レハ漁船一艘ニ三四人乗組ニ一人ニ付該具各三挺ノ則ニシテ船ノ右方舳ヨリ艫ニ至ル迄合計九挺ヲ付シ艫ノ両方ニテ櫓ニ挺ヲ押シテ海底大砂利ノ場所ヲ漕キ廻リ以テ該貝ヲ搔キ取ルモノトス 林村調査

鱸漁

魚網 鱸魚網ニテ鯛ト同時ニ漁ス

打網 鰯魚打網ニテ鰯魚ト同時ニ漁ス

拵繩 漁期六月ニ至レハ夜中潮ノ和クヲ待テ漁船一

艘ニ二人乗組ニ該具三桶ヲ乗セ漕出テ繩端ニ浮樽

ヲ付レ潮上ヨリ拵始ノ其流ニ隨ヒ直線ニ潮下ニ拵

ハ了リ九二三時間ヲ經テ引揚ケ魚ヲ収ム但餌料ハ

生活セル魷魚ヲ用ユ藤江村調

釣 漁期六月ヨリ八九月頃ニシテ漁船一艘ニ三人乗

組一艘ニ五本完備ハ餌料蝦ヲ用ヒ本郡沖合ヨリ淡

路沖合ニ於テ漁ス新濱調○餌料ハ魷魚ヲ用フ西

ニ村調

第七款 有害漁法

手繰網ノ使用ハ素ト期節ヲ制限セシモノナルカ維新後

其法乱レ季節ヲ論セス晝夜之ヲ使用シ又諸方ニ於テハ

田網ウタセ網等近年大ニ増加シ夜中竊ニ入り来リテ使

用スルヲ以テ他ノ漁業ヲ妨害スル下少カラス塩屋村調

○八田網ハ海岸ヨリ八丁乃至十五丁ノ沖合ニ於テ網ヲ

張り魚少シク集レハ即チ之ヲ漁スルヲ以テ群集ヲ妨ク

ルノ害アリ西壱水村調○鰯魚ノ群集セル場ハ備前尻見

ノ漁者夜ニ乘シテ竊ニ来リテ網ヲ入レ該魚ヲ捕ヘ去ル

テアリ往々之ヲ發見シ追捕セントスルニ彼ノ漁者ハ頗

ル老練ニシテ船ヲ行ルテ頗ル軽捷ナルカ故ニ追及スル

テ能ハス為ニ多少ノ害ヲ受ケリ山田村調○八田網紀多州

浦及本郡林村漁及ヒモチ網本村在来ハ何レモ公種類ノ

者来リ使用ス

モノナルカ鰯地引網漁ニ害ヲ與フルト甚シ又手繰網ハ
 沖合ノ藻中ヲ攪乱スルヲ以テ諸魚ノ生長ヲ害スル等蕃
 殖上妨害少カラス大藏谷村調○八田網手繰網ノ漁具ハ
 今ヲ去ル二十五ヶ年前ニ創製シ爾來漸ク盛ニ使用スル
 一トナリシカ其網目ハ甚夕密ニシテ晝夜ノ別ナク諸網
 代ニ張り回スモノナレハ産卵ヲ害シ蕃殖ヲ妨ク加之為
 ノニ諸魚ハ驚愕シ網代ヲ退去スル等最モ釣業及地引鰯
 網漁業ニ妨害ヲ與フ當津村以下調査ニ○ヲコボ掛ケハ各網
 代及苗場等ヲ引回ス為ノニ産卵生藻ヲ妨ケ魚類ノ生育
 ヲ害スルノミナラス尚釣業ヲモ妨害セリ○延繩ハ夜陰
 ニ乘シ海中ヨリ引揚ルキ其釣ニ罹リタル魚ハ悶著シ為
 ニ水中光ヲ發シテ他ノ諸魚ヲ驚散セシムノ害アリ○貝
 突ハ烏賊章魚等ノ孳化后日尚淺キモノヲ害ス○鯛延繩

ハ他ノ諸漁ヲ妨害スル為ノニ舊藩時代ニハ堅ク禁セシ
 カ維新后其法漸ク弛ミ方今盛ニ之ヲ使用シ妨害少カラ
林村以下調査ニ○鰯釣ハ持網漁ノ魚群ヲ追ヒ散ラス故
 ニ二十間計隔離シテ釣スルトナシタリ○貝突ハ諸魚
 餌料ノ貝類ヲ頻リニ捕獲スルノミナラス漁場ヲ荒ラス
 ノ害アリ○ヲコゼ掛ケハ軟沙中潛伏ノ魚ヲ穿テ出スヲ
 以テ大ニ鰯網漁ヲ害ス○鰻網ハ晝夜ヲ論セス沿岸ニ於
 テ使用スルニヨリ他ノ小漁者ヲ害ス○逆漕網ハ潮水劇
 流ノ片ヲ好トス故ニ諸魚ノ群遊ヲ追散スルノ患アリ且
 章魚壺繩ヲ破損スルノ害アリ○ウタセ網ハ魚卵ノ産付
 ヲ妨クル等ノ大害アリ○イサリ鰈魚ノ産卵ニ
 タル藻ヲ突切り流スヲ以テ繁殖上ニ害アリ藤江村調○
 牡蛎及辛螺濫捕ノ弊アリ宜ク矯正スヘシ江井村以下調査

シ ○ 飯章魚ヲ漁スルニハ従前ハ期節ノ制限アリシカ近
 年ハ蜘蛛章魚ト稱スル稚少ノ飯章魚迄モ濫漁スルノ弊
 アリ矯正セサルヘカラス ○ マカセクリ網ハ鰯漁流セリ網
 ヲ妨害スルト少カラス ○ 手繰網ハ蛸壺漁ノ害トナル最
 モ甚シ蓋シ蛸壺ハ海底ニ長ク延ヘ置モノナルヲ若シ手
 繰網ニ掛リタルハ手繰網ノ漁夫等ハ庖刀ヲ以テ之ヲ
 裁斷スル等ノトアリ或ハ其壺ヲ一所ニ曳キ集ルトアリ
 又「落グリ」ト稱ヘ海底ニ落タル各物ヘ章魚其他ノモノ
 産卵セシモノモ皆手繰網ニテ曳揚ルトアルニヨリ該網
 ハ章魚壺業其他ノ漁者ヲ害スルト少カラス ○ 玉筋魚網
 ハ鰯魚ヲ散乱セシムルノ害アリ 西岡村調査ニ ○ 鰯網鰯
 網ハ地引網業ヲ妨害ス ○ 漁季ヲ定ノス捕収類ヲ濫捕
 スルノ弊アリ宜ク其期ヲ定メ十二月ヨリ翌年四月トス

ヘシ ○ ヲコセ掛ケ鰈突貝突ニ濫漁ノ弊アリ矯正セサル
 ヘカラス

第三章 蕃殖

第一款 生産期節

水族ノ生産スル期節左ノ如シ
東垂水村大藏谷村
當津村調査ニヨル

品名	鮠魚	章魚	海鰷	鰈	鰈	鱈	鮫
初ヲ孕ミタルモノヲ捕獲セシ月	十二月	八月	二月	二月	十一月	二月	二月
卵ヲ孕ミタルモノヲ最後ニ捕獲セシ月	一月				四月		
卵ナキ魚ヲ初メテ捕獲セシ月	二月	十月	六月	六月		六月	六月

第二款 生産場

章魚烏賊鮑魚瀬戸貝ハ海底ノ深所ニアル藻中又ハ沈没
 セシ網繩或ハ石間等ニ産卵ス東莖水村調○海鰻鱺ハ十
 一月頃子ヲ孕ムモノニシテ其脊筋ノ邊ニ血ノ如キ塊ア
 リ之レ其子トナルモノナリ尤モアナゴニ白黒ノ二種ア
 リテ子ヲ孕ムハ白種ニ限ル十二月ニ至レハ全ク産ミ盡
 スナリ大藏谷村調○鯛ハ礫石或ハ藻類ノ網代ニ産卵ス
江井嶋村調○烏賊ハ海藻ニ産卵ス白色透明ニシテ
 恰モ數珠ヲ維クカ如シ○辛螺モ産卵方章魚ニ全シ而シ
 テ沖合小石ノ海底ニ生育ス○年々夏期ニ至レハ海亀来
 ツテ海濱砂中ニ産卵ス○鰈ハ生産后多ク砂中ニ棲息ス
 ○海鰻鱺ベラ魚ハ磯又ハ藻ノアル所ニ生産ス
 魚住村ヨリ江井嶋村迄ノ沖合ニ海鬚ヲ生ス初メハ青色

ニシテ後漸々赤色ヲ帶フ而シテ七月ノ節曆前後三十日ノ間風波ニヨリ海岸ニ打揚ケラル魚住ヨル調

第三款

有害物

鯽及鰈拵繩ハ活キ魚ヲ餌料トナシ配置スルモノナリ然ルニ河豚来リ其繩ニ沿フテ其餌魚ヲ食シ害ヲ為ス甚シ江井嶋村調〇近年蒸汽船通行頻繁ナルニヨリ其音響ニヨリ漁業ヲ妨クル下少カラス西垂水村調

第四章 漁民

第一款 營業ノ景況

明治初年ノ頃ハ諸漁民相應ノ漁獲アリシカ爾后旧法弛廢シ不良ノ漁具漸ク行ハレ為メ不漁打續クノ傾向ナリ而シテ之ニ反シテ漁者ハ年々増加ノ勢ナリ尚郡内一般ノ景況ヲ示スヘ左ノ如シ

漁業概表

種別	曳網類 數 疊	建網類 數 把	線網類 數 疊	敷網類 數 疊	旋網類 數 疊
東葉村	一〇	一五〇	三〇		
聖符	二		二〇		
山田村	一四	五〇	一〇	八	
塩屋村	九		三		
森村	二		八	八	
聖町	二				
常津村	一			三	
新濱			一〇		
式町			一〇		
林村	六	二五二	二七	三七	三
藤村	九	九〇	二四		
江村	一	二六〇	二五	一	
松村			三		
谷本村			二		
中尾村			三		
敷住村		二〇〇	一六	三	
岡村		八〇	一六	二	
合計	七四	三六〇三	三九	一六二	三

六系

漁業者ノ種別如シ
 第二款 營業種別

種別	東葉村	粟村	山田村	塩屋村	大蔵村	相生町	常津村	新濱	戎町	林村	藤江村	江島村	松村	谷本村	中尾村	魚住村	西岡村	合計
飯草魚釣漁者								四〇	三〇〇	二一五								一四九六
飯草魚兼養漁者										二〇〇	六							二二一
手筋魚兼養網漁者							五四			二一〇								二六四
手筋魚兼養網漁者																		三
玉筋魚兼養網漁者																		三九
烏賊釣漁者																		三
鰯釣漁者																		四六二
鰯八田網漁者																		二四
鰯持網漁者																		三〇
鰯地曳網漁者																		八三
種別	八〇	一〇〇	一八一	六〇	四一	三	七〇			三〇〇	二四	二四						三〇〇

漁民數人	漁船數艘	筍籠類數箇	挾挾類數枚	叉鈎類數挺	繩鈎類數桶	手鈎類數疊	掩網類數疊	抄網類數疊
八〇	五	三〇		五	七〇	一八四	五	一五
一〇〇	三一	三〇	三〇	一八〇	二〇	二〇六	六	六
一八一	五二	三〇		三	二〇	二〇	八	
六〇	四〇	一五		九	一〇	五	三	
四一	三三	一五		八	三三		一	
三	九	四五			七	二二	四	
七〇	五一			一四五	九六	二一五		
四〇	二七七			四四〇	四九〇	三九〇		
一五〇	七〇			四五	八〇	一五五	二	
三六	一五九	五六		二五八	六三	八九六		
二四	一七	四〇		五五	九	八〇		
五八	二九	三三			九六	一九二	七	四〇
七	五			四				
八	四	四				三〇	三	
六	四						六	
三	八				八五		八	
六	一九	八〇			一〇		一一	
一六二	八五八	三〇七	三〇	六二二	七三九	三三〇	六四	六一

河豚釣漁者	鯽釣漁者	鯽拵純漁者	鱈拵純漁者	真章魚釣漁者	真章魚家繩漁者	鮫野釣漁者	ノノ拵純漁者	ノノ建網漁者	ノノ建網漁者	ノノ掛網漁者	ノノ建網漁者	ノノ釣漁者
				二〇	三〇							二
				一六	三〇							
					三〇							三
					四							五
			一		六							
	三			三	三							
三〇	四五			三〇		五〇	三〇			三〇		一〇〇
六〇	一八〇			一〇〇		五〇〇	七三			二〇〇		四〇〇
一〇	一五			九		一五〇	九			一〇		九〇
				一五	二〇〇			一五二				
				二田	二田							
				田	田					田		
一〇〇	二四三					三六〇				二田		三

雜魚手線網漁者	鯽釣漁者	鯽網漁者	鯽拵釣漁者	海鱈網拵純漁者	海鱈網拵純漁者	鮫魚釣漁者	鮫魚拵純漁者	鮫魚小手網漁者	鮫魚底建網漁者	鱈拵純漁者	鱈底建網漁者	鮪釣漁者
								六			八	
一八〇												
六〇												
四〇				三								
一〇												
一六					三							
					三	三						九
	一〇〇		一〇〇		一〇	九	二〇			一五		二〇〇
二〇	五〇		五〇〇		二〇	九	三〇			一五		四〇
二〇	九〇		一五〇		九	四〇	一五					
二田		二田										
二田												
三								一〇				二
田												
田												
六												
二〇									一			
六												
六五三	六九〇	二田	六五〇	三	一三六	一四二	一六一	一〇	八	一八〇	二	二田

鯿釣漁者	鯿拵漁者	瀬戸貝掛漁者	鮭釣漁者
		六〇	
	七		
		三	
三			
六	二	二五	二〇
六	九〇	一五	一五〇
一〇	九	五三	六〇
		二〇	
	六		
		二	
	六		
	一		
二七九	一三四	四一五	二〇〇

又漁業ニ関スル營業者ノ種別ヲ舉クレハ左ノ如シ

種別	資本主		普通漁者	雇夫		手間取
	自村	他村		自村	他村	
東葉村	三		五〇			
粟村	三		二〇			
山田村	二		四〇		二〇	
塩屋村	四		六〇			
大瀬村	六		四一			
相町	一		三			
常津			五			
新濱			五			
戎町			一三			
林村			二七			
藤村			二			
江井村			五			
松江村			四			
谷本村			五			
中尾村			六			
魚住村			二			
西園村			六			
合計	一九		二〇三		二〇	
			四九		五三	

備考
資本主網親ト稱シ自ラ漁業ヲナシ而シテ他ノ漁者

自ラ仕込ヲ為スル能ハサル者ニ日々需用物品ヲ貸與シ捕獲物金ノ三割ヲ以テ之カ償却ヲナシム取ル下ナ別ニ但シ内一割一分ニ厘ハ税金トナシ一割八分八厘ヲ全ク償還ニ充ツルノ例ナリ谷大藏ヨ調査ニ

雇夫 鰯網玉筋魚網等漁期中普通漁者ノ使役スル所ノモノニシテ年中使役スルモノ之ヲ年中雇ト稱ス其職ニ由リ左ノ名稱アリ

船頭 他ノ漁夫ヲ指揮シ漁業ヲ擔當シ網ノ構造等ヲ掌ル

脇船頭 船頭ヲ補助ス

平働 船頭ノ指揮ヲ受ケ漁業一切ノ雜事ニ使役セラレ

右雇ヲ要スル數ハ漁事ノ難易ニ由リ差異アリト
 雖此漁網一疊ニ付凡二十人乃至四十人トス給料
 ハ物價ノ高低ニヨリテ年々一様ナラサレハ概シ
 テ船頭ハ十六圓平働ハ十圓トシ而シテ食料ハ雇
 主之ヲ給ス山田村調○鰯、鰯、鯉、チリメ、玉筋魚等
 ノ網漁業雇人給ハ捕獲ヲ折半レテ之レニ充テ残
 リ半數ハ網主ニ取ルノ例ナリ但分配法ハ漁期ノ
 初ノ毎ニ目安ヲ定ム即チ男一人ヲ一合トシ女ハ
 何夕老人ハ何夕又非常ニ働クモノハ一合三夕ヲ
 給スル等ノ類ニシテ該網關係重立タルモノニテ
 評決シ置キ之ニ準據スルモノトス然レハ日用需
 用品等貸與スルヲアルモノハ此際償還ヲナサシ
 ムルナリ大藏谷村調○四五月阿波讚岐ノ漁者

ヲ一ヶ月二圓乃至三圓ニテ雇ヒ食事草鞋等雇主
 之ヲ給スルヲアリ林村調查
 手間取 多ク當地方ニ住居シ他ノ業ヲ営ムモノニ
 シテ漁事繁多ノ片来リ手傭ヲナスモノナリ一日
 ノ給料ハ漁事ノ厚薄ニヨリ差異アレハ一人ニ付
 男ハ錢女五錢ニシテ食事モ亦雇主之ヲ給ス山田村調
 查ルニ

兵庫縣漁業慣行録卷之七 終

兵庫縣